

「芦屋市すまいのアンケート調査」
報告書

令和 6 年 5 月
芦 屋 市

目 次

| | |
|---------------------------------|-----------|
| I. 調査の概要 | 1 |
| 1. 調査の目的 | 1 |
| 2. 回収状況 | 1 |
| 3. 調査項目 | 1 |
| II. 単純集計結果 | 2 |
| 1. 住まいについて | 2 |
| 2. 住まいとまわりの環境の評価について | 12 |
| 3. 今後の住宅施策について | 17 |
| 4. 今後の住まい方や環境について | 19 |
| 5. あなた自身のことについて | 29 |
| III. 前回アンケート調査との比較 | 33 |
| IV. その他（クロス集計） | 41 |

Ⅰ. 調査の概要

1. 調査の目的

芦屋市では、平成 20 年 3 月に「芦屋市住宅マスタープラン」を策定、平成 30 年 3 月に改定し、住まいや住まい方に関する施策を実施してきました。近年の人口減少・少子高齢化の進行、災害の激甚化、脱炭素社会への転換等、住まいをとりまく社会環境の大きな変化に対応するため、新たに芦屋市住生活基本計画を策定するにあたり、市民の住まいに関する考え方を把握するため、「芦屋市すまいのアンケート調査」を実施しました。

2. 回収状況

対象者：芦屋市在住の 20 歳以上の市民 3,000 人

(令和 6 年 (2024 年) 1 月 1 日現在の住民基本台帳登録者)

実施期間：令和 6 年 (2024 年) 3 月 1 日 (金) ~ 3 月 15 日 (金)

調査方法：1. 郵送による配布・回収 (督促状を 1 回送付)

2. パソコン・スマートフォン等により WEB で回答

(郵送によるアンケート票に WEB 回答の案内を印刷)

抽出方法：過去の市民意識調査における年代別の回答傾向を踏まえ、想定される回答サンプル数の年代別・地区別の構成比が実際の芦屋市の人口構成に近似するように抽出サンプル数を想定した上で、住民基本台帳から無作為抽出

配布・回収状況：

| | 件数 | 備考 |
|--------|-------|------------------------------------|
| ①対象者数 | 3,000 | |
| ②有効配布数 | 2,981 | 未配達等 19 件 |
| ③有効回答数 | 1,410 | 用紙回収：988 件 (無効 2 件除く)、WEB 回収：422 件 |
| ④有効回収率 | 47.3% | ③有効回答数 ÷ ②有効配布数 |

3. 調査項目

【項目及び設問】 A4 サイズ 13 頁 36 問 (付問含む 44 問)

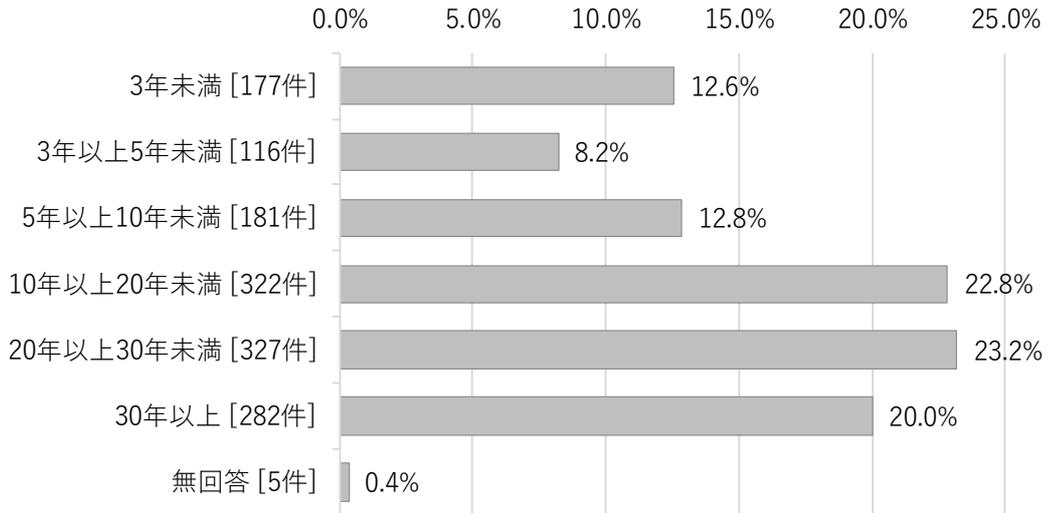
- (1). あなたの住まいについて (13 問)
- (2). 住まいとまわりの環境の評価について (3 問)
- (3). 今後の住宅施策について (1 問)
- (4). 今後の住まい方や環境について (12 問)
- (5). あなた自身のことについて (7 問)

II. 単純集計結果

1. 住まいについて

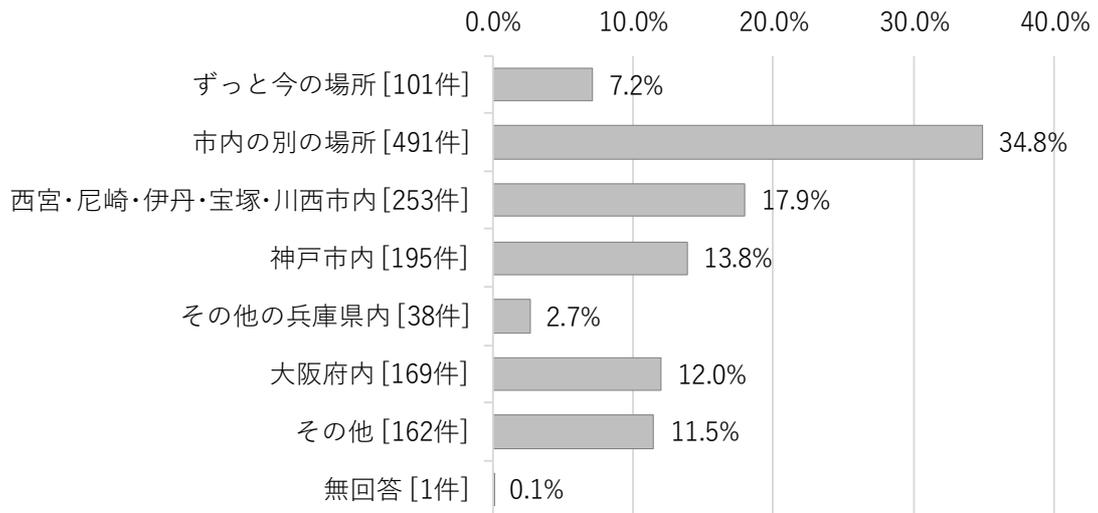
問1：現在の住まいに住み始めてから何年が経過しますか【単一回答】

「20年以上30年未満」が23.2%と最も多く、次いで「10年以上20年未満」が22.8%で多くなっています。



問2：現在の住まいの前は、どちらに住んでいましたか【単一回答】

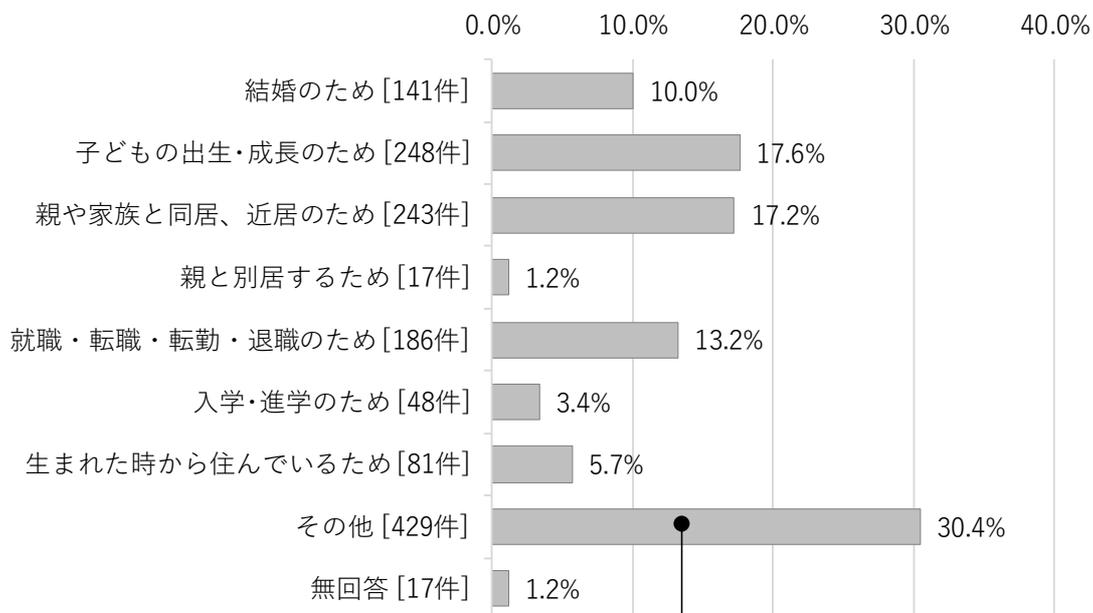
「市内の別の場所」が34.8%と最も多く、次いで「西宮・尼崎・伊丹・宝塚・川西市内」が17.9%で多くなっています。



問3：現在の住まいに住むことになったきっかけは何ですか【単一回答】

「子どもの出生・成長のため」17.6%、「親や家族と同居、近居のため」17.2%、次いで「就職・転職・転勤・退職のため」などが多くなっています。

その他の回答としては「家の購入」が最も多く、74件（5.2%）となっています。



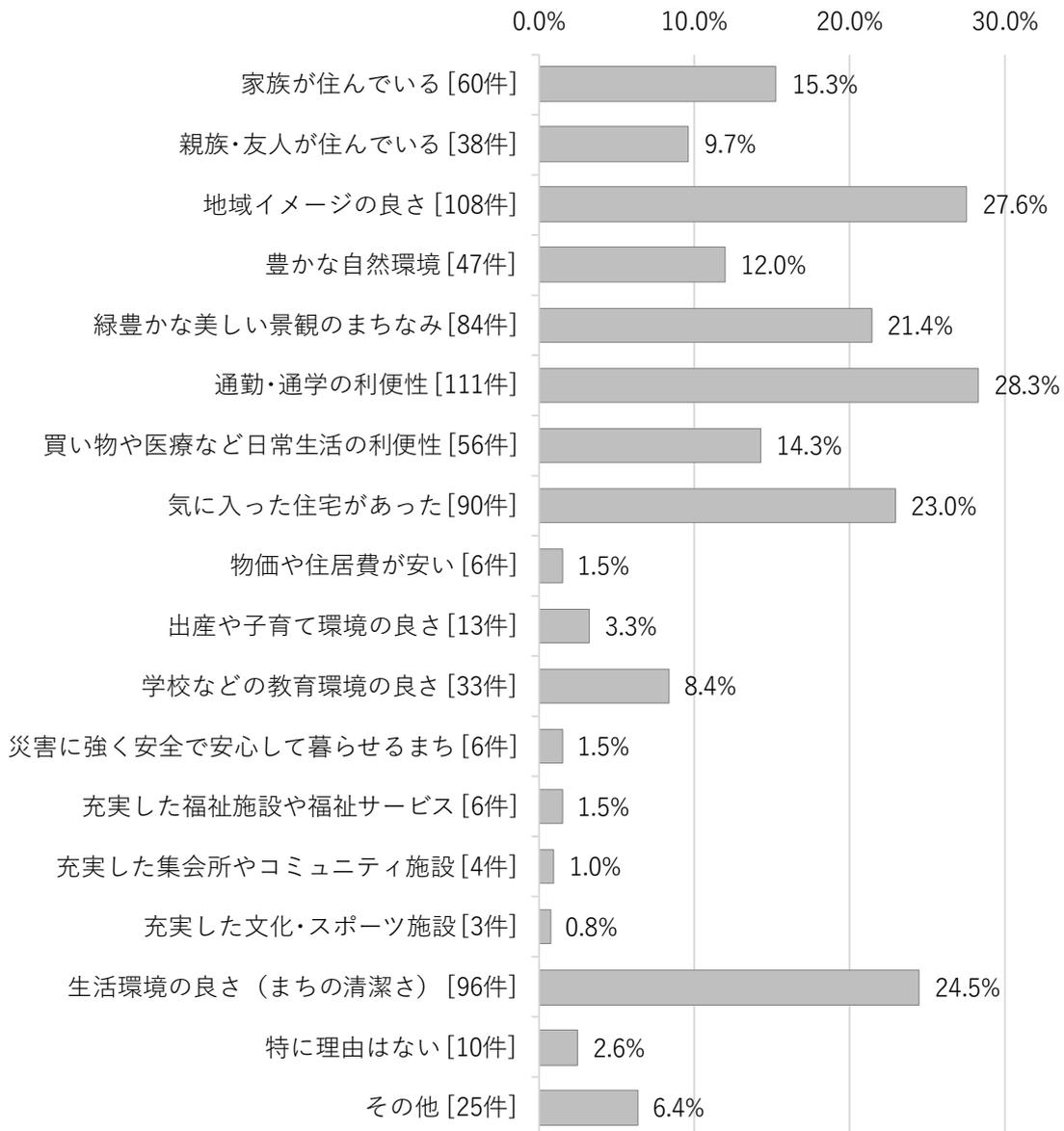
その他のきっかけ（主なもの）

| | |
|------------|----|
| ・家の購入 | 74 |
| ・震災の影響 | 33 |
| ・家族の事情 | 13 |
| ・引っ越しをした | 10 |
| ・芦屋に住みたかった | 9 |
| ・離別・死別 | 8 |
| ・ペットのため | 8 |
| ・利便性がよいため | 7 |
| ・家を相続した | 7 |
| ・立ち退きにあった | 6 |
| ・家の老朽化のため | 6 |
| ・老後のため | 6 |
| ・家賃を低くするため | 4 |

問3付問：問3の「1,4,5,6」※を選択された方、その理由は何ですか【複数回答】

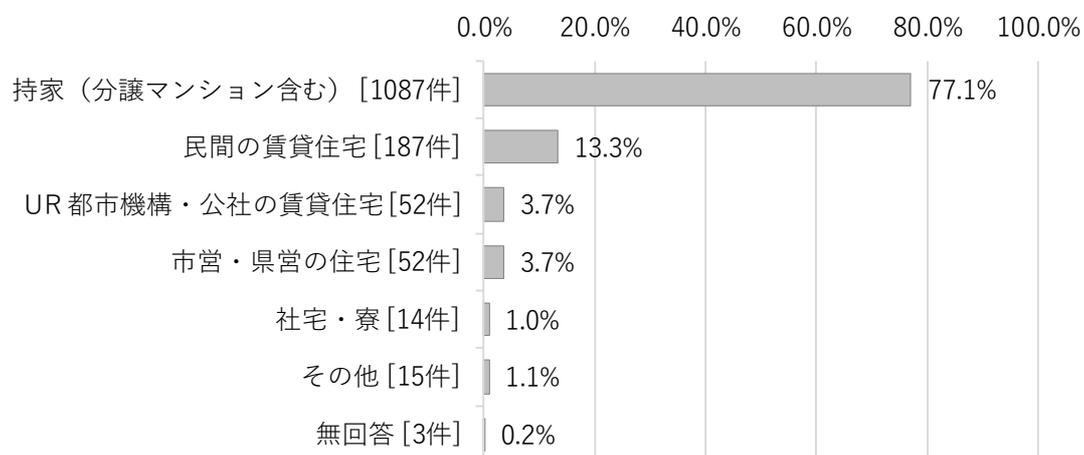
※「1. 結婚のため」、「4. 親と別居するため」、「5. 就職・転職・転勤・退職のため」、
「6. 入学・進学のため」を選択した392件について

「通勤・通学の利便性」が28.3%と最も多く、次いで「地域イメージの良さ」が27.6%で多くなっています。



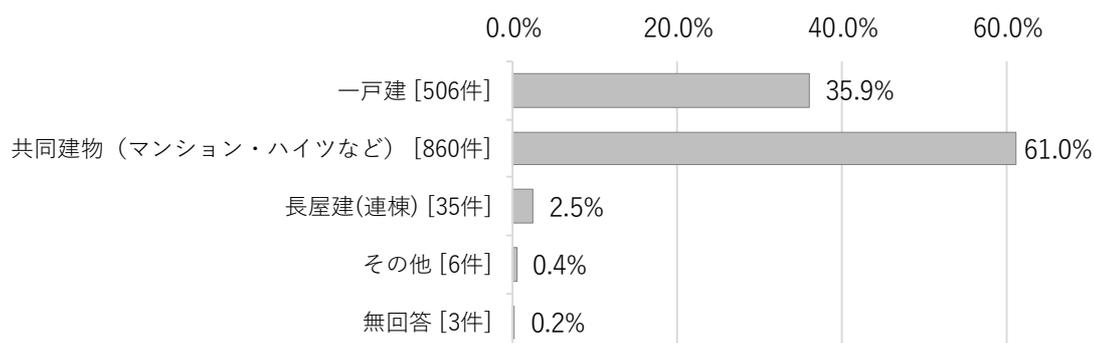
問4：住まいの所有関係は、どのようになっていますか【単一回答】

「持家（分譲マンション含む）」が 77.1%と圧倒的に多く、次いで「民間の賃貸住宅」が 13.3%となっています。



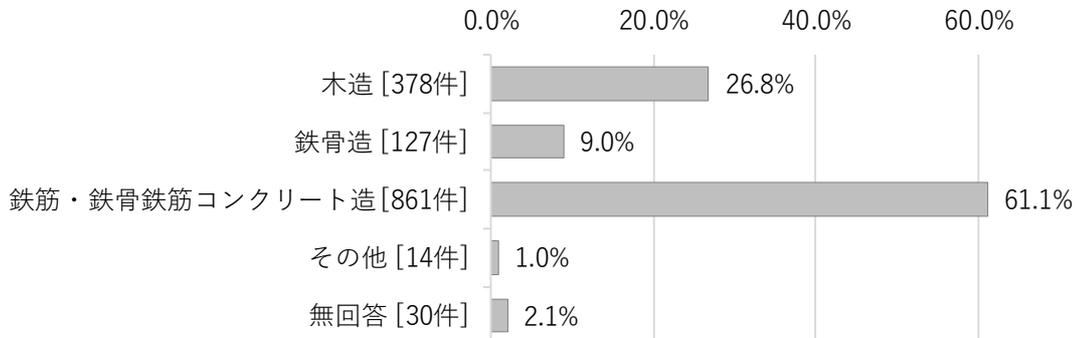
問5：住まいの形態は、どのようになっていますか【単一回答】

「共同建物（マンション・ハイツなど）」が 61.0%と最も多く、次いで「一戸建」が 35.9%で多くなっています。



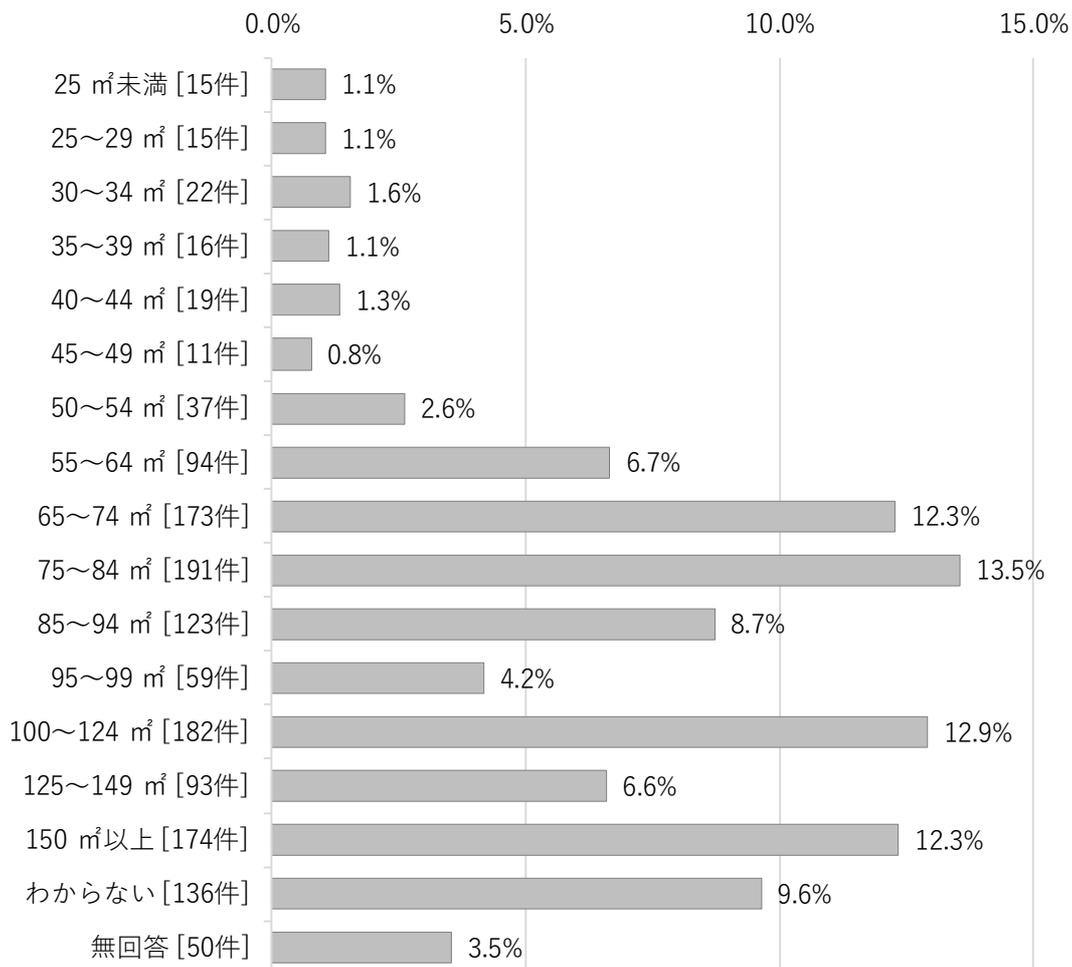
問6：住まいの構造は、どのようになっていますか【単一回答】

「鉄筋コンクリート・鉄骨鉄筋コンクリート造」が61.1%と最も多く、次いで「木造」が26.8%で多くなっています。



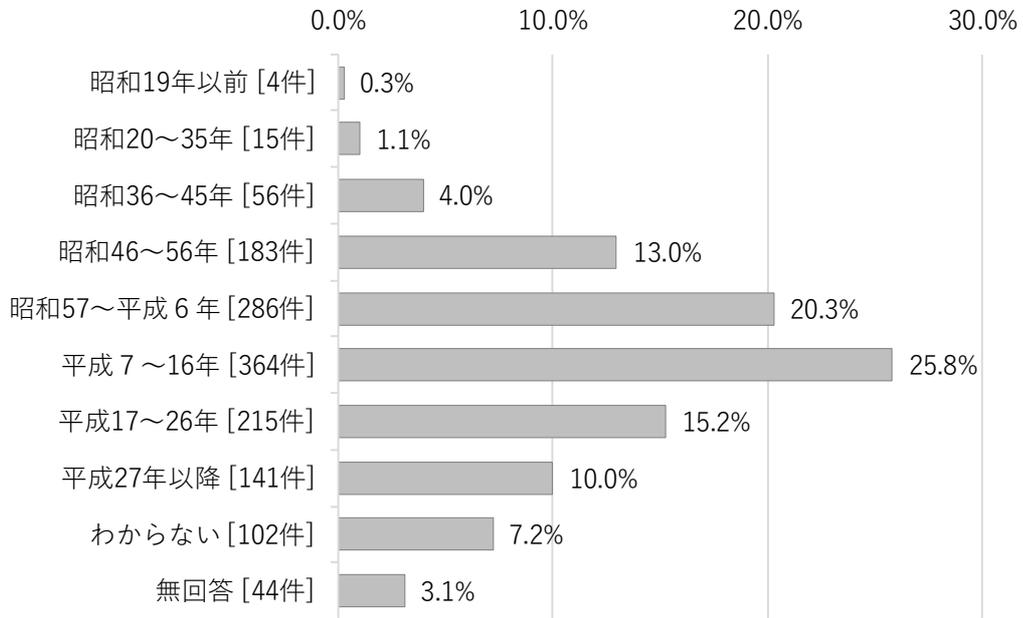
問7：住まいの広さは、どれくらいですか【単一回答】

「75～84 m²」が13.5%と最も多く、次いで「100～124 m²」12.9%、「65～74 m²」・「150 m²以上」12.3%の順で多くなっています。



問8：住まいは、いつごろ建てられたものですか【単一回答】

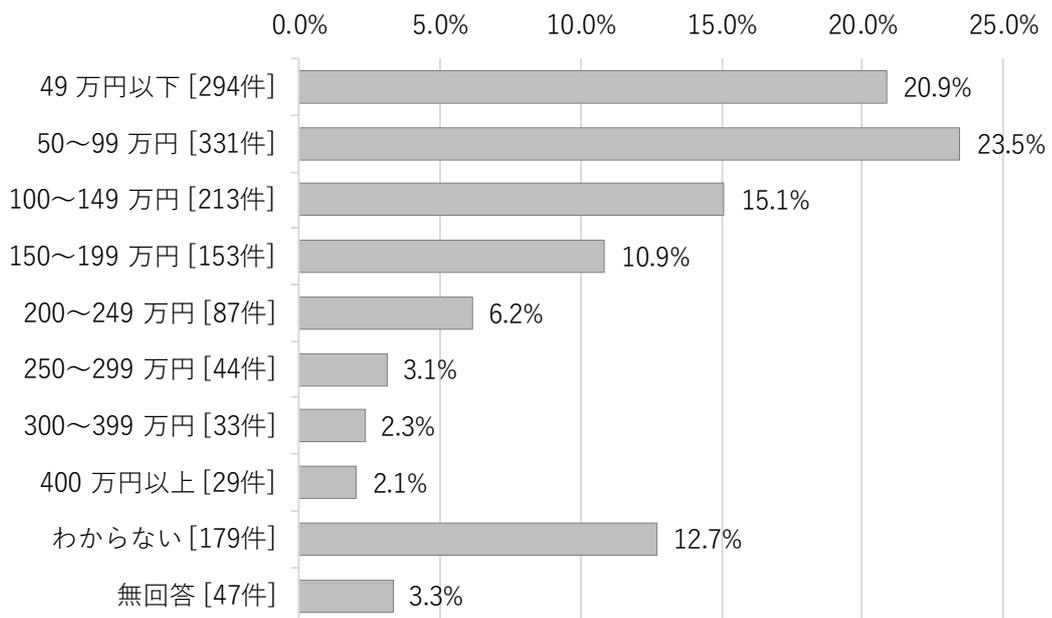
「平成7～16年」が25.8%と最も多く、次いで「昭和57～平成6年」が20.3%で多くなっています。昭和56年（旧耐震基準）以前が18.4%となっています。



問9：住宅の維持管理に必要な費用は年間どのくらいですか【単数回答】

(借家の方は家賃、持家の方は住宅ローンや固定資産税等も含めて計算してください)

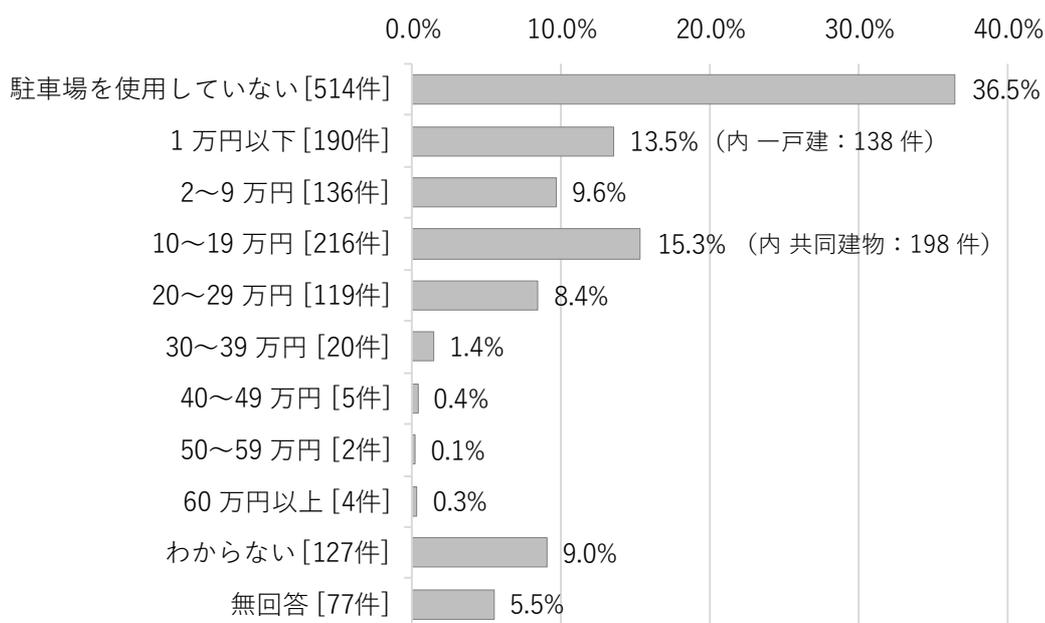
「50～99万円」が23.5%と最も多く、次いで「49万円以下」が20.9%で多くなっています。



問 10：駐車場の維持管理に必要な費用は年間どのくらいですか【単一回答】

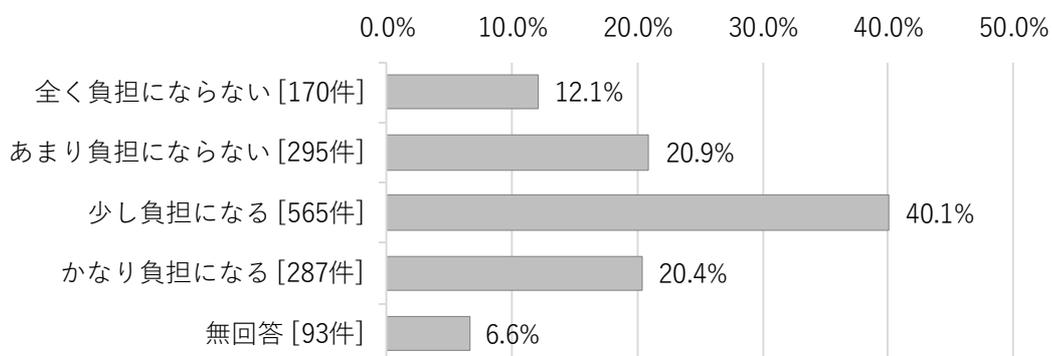
(駐車場費を支払っている場合は含めて計算してください)

「駐車場を使用していない」が 36.5%で最も多くなっています。次いで「10～19 万円」15.3%、「1 万円以下」13.5%の順で多くっており、主に前者が共同建物、後者は一戸建の維持管理費用となっています。



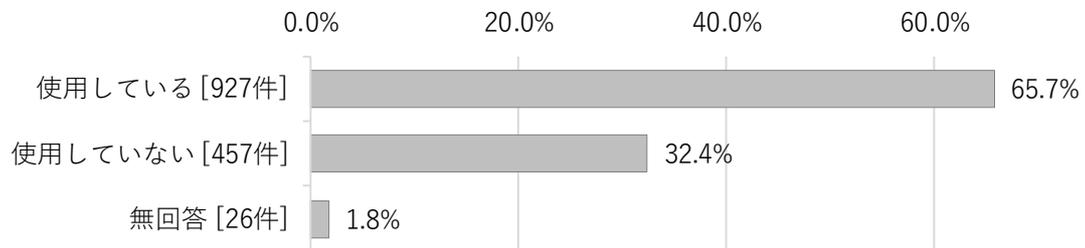
問 11：住宅や駐車場の費用負担について、どのように感じていますか【単一回答】

「少し負担になる」が40.1%と最も多く、「かなり負担になる」20.4%と合わせると、6割強が「負担になる」と回答しています。一方、「あまり負担にならない」20.9%、「全く負担にならない」12.1%を合わせた3割強が「負担にならない」と回答しています。



問 12：あなたも含めて、一緒に住んでいる人は自動車を使用していますか【単一回答】

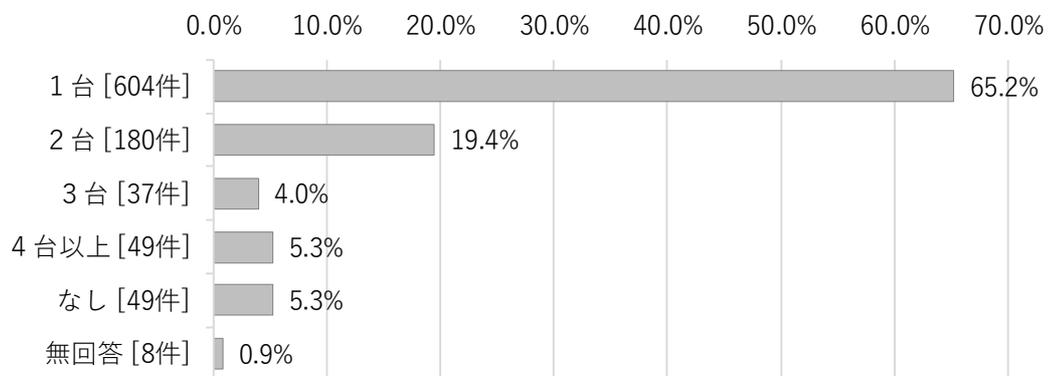
「使用している」が65.7%と、全体の2/3が自動車を使用しています。



問 12 付問 1：住宅の敷地内の駐車台数は何台ですか。【単一回答】

※「自動車を使用している」を選択した 927 件について

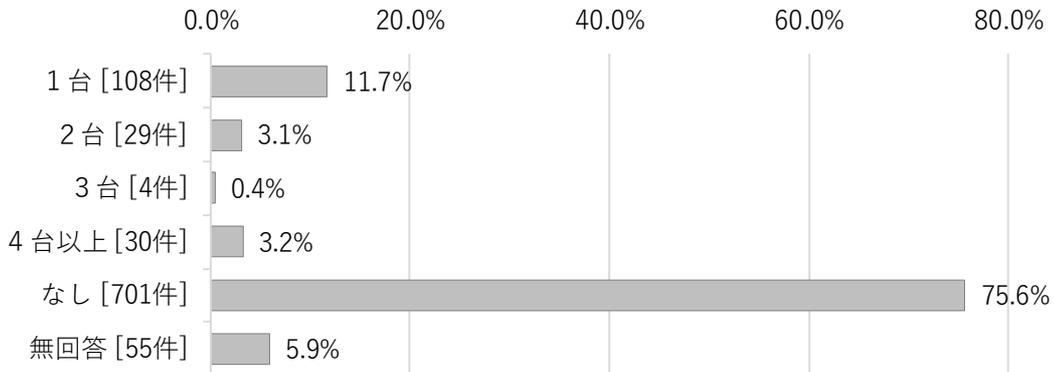
「1台」が65.2%と最も多く、次いで「2台」が19.4%で多くなっています。



問 12 付問 2：住宅の敷地外の駐車場台数は何台ですか【単一回答】

※「自動車を使用している」を選択した 927 件について

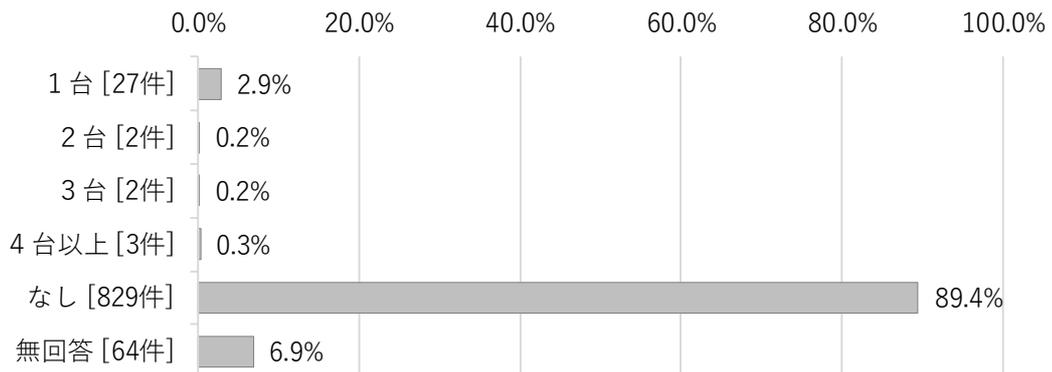
「なし」が 75.6%で大半を占めています。敷地外の駐車場台数がある方は「1台」が 11.7%、2台以上も合わせた敷地外駐車場の利用率は 18.4%となっています。



問 12 付問 3：カーシェアを利用している自動車の台数は何台ですか【単一回答】

※「自動車を使用している」を選択した 927 件について

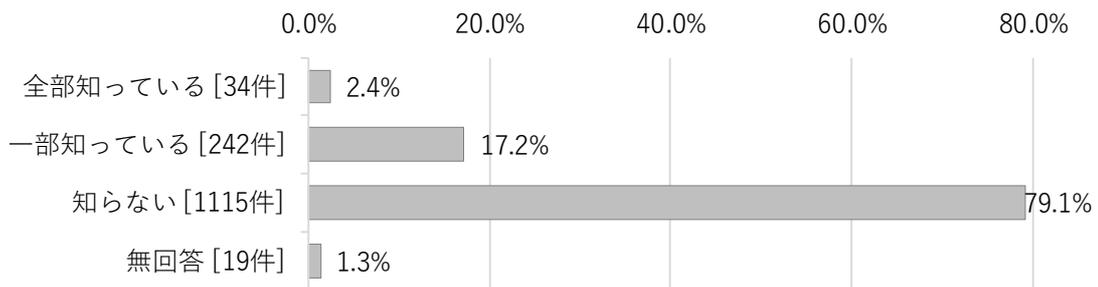
「なし」が 89.4%で大半を占めています。カーシェアを利用している方は「1台」が 2.9%、2台以上も合わせたカーシェア利用率は 3.6%となっています。



問 13：本市では「①簡易耐震診断推進事業」という制度で、みなさんのお住まいの耐震診断を無料で行っています。また、「②住宅耐震化促進事業」という制度で計画策定費や工事費等の一部を補助しています。以下の設問についてそれぞれお答えください

問 13-A：このような制度があるのをご存じですか【単一回答】

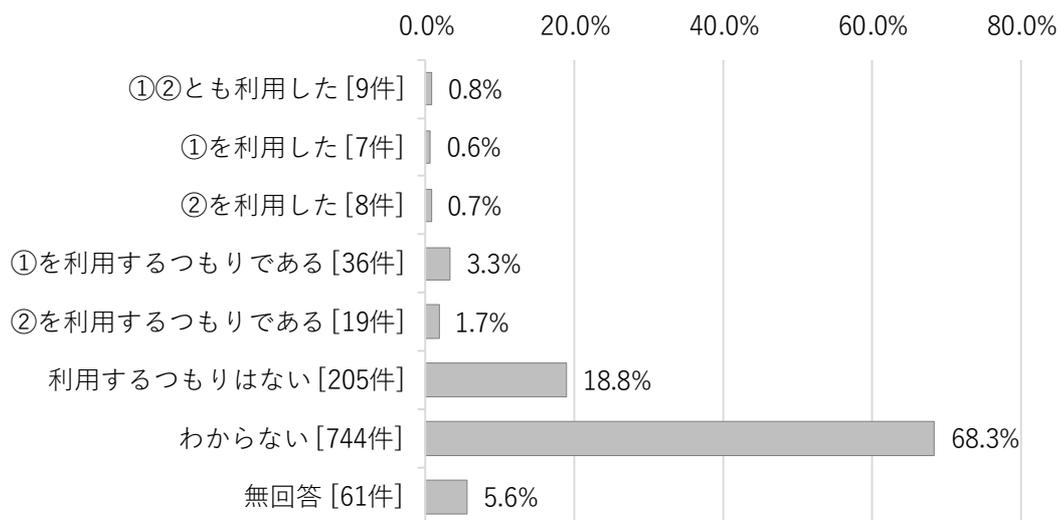
「知らない」が 79.1%と約 8 割を占めている一方、「一部知っている」17.2%、「全部知っている」2.4%を合計して認知率は約 2 割となっています。



問 13-B：持家の方にお聞きします。上記の制度を利用したことがありますか【単一回答】

※問 4 で「持家（分譲マンション含む）」と回答した 1,089 件について

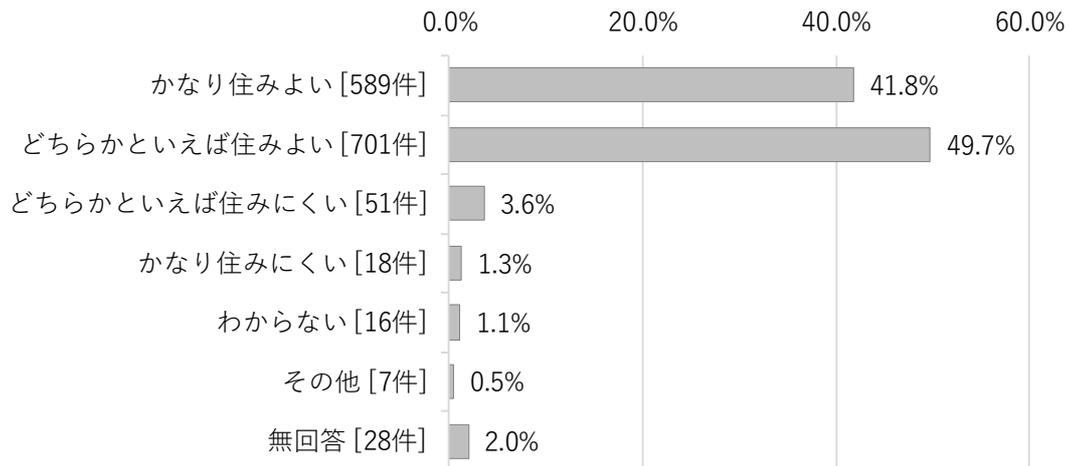
「利用した」割合は、「①②とも」、「①」、「②」を合計しても 2.1%にとどまっています。また、「利用するつもりである」は①、②合計して 5.0%となっています。対して、「利用するつもりはない」は 18.8%となっています。



2. 住まいとまわりの環境の評価について

問 14：現在、住んでいる地域について、あなたは住みよいところだと思いますか
【単一回答】

「どちらかといえば住みよい」が 49.7%と最も多く、次いで「かなり住みよい」が 41.8%で多く、合計すると 9 割強が住まいと周りの環境を「住みよい」と評価しています。



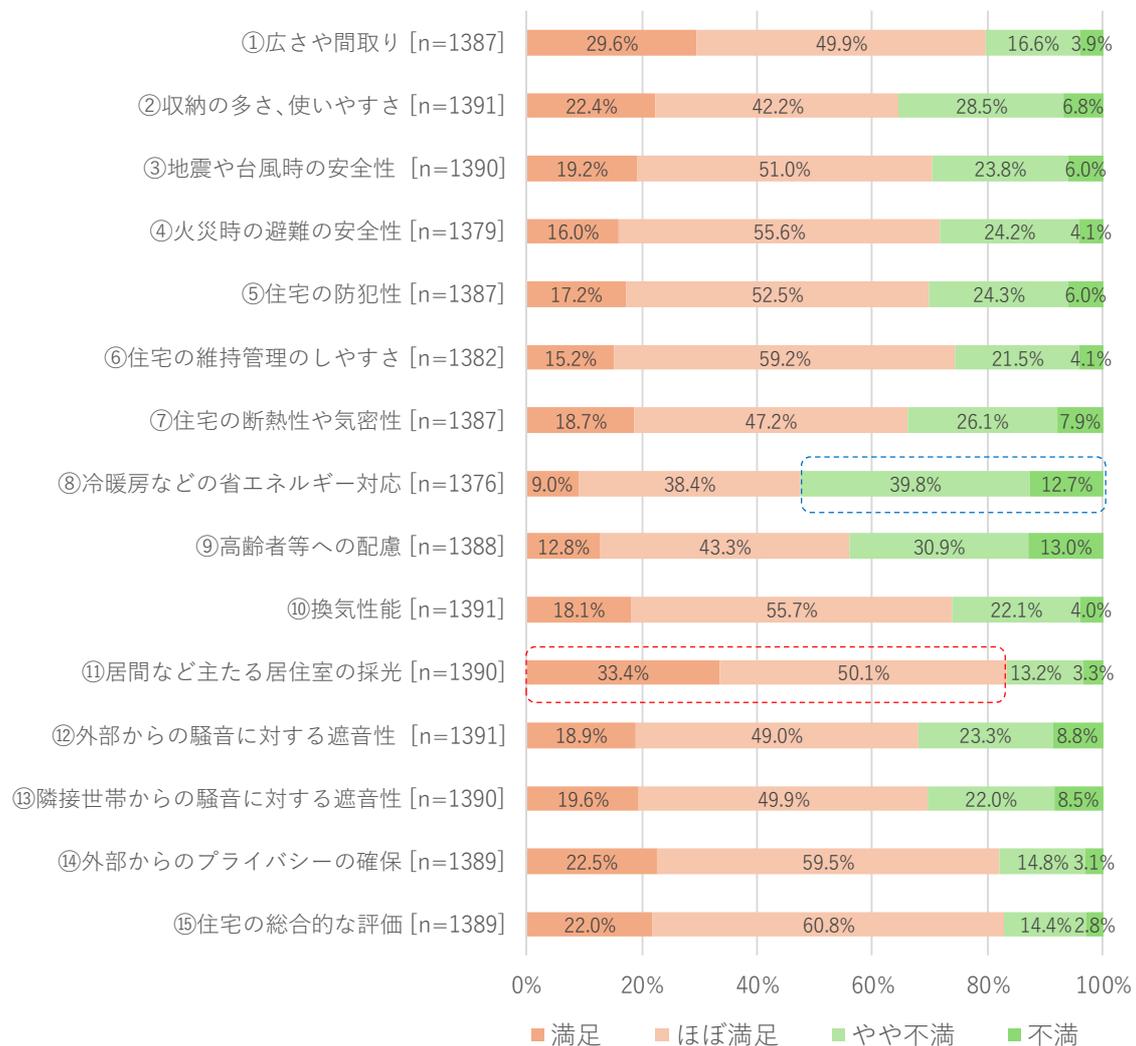
問 15：現在の住まいについて、どのように思いますか。【各項目単一回答】

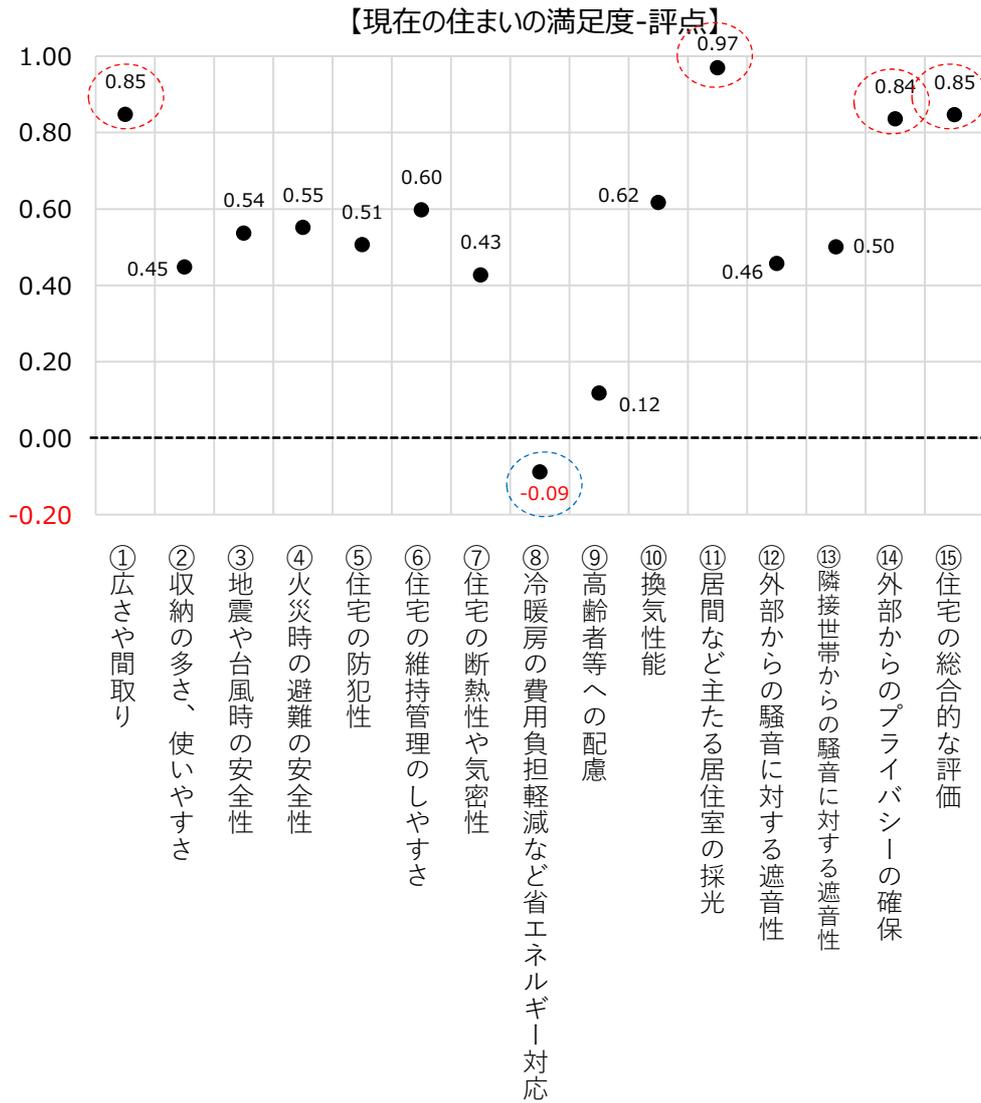
※各項目とも「無回答」を除いた回答数（n）で集計

満足度が最も高いのが「⑪居間など主たる居住室の採光」（満足率 83.5%、評点 0.97 ポイント）で、その他「①広さや間取り」、「⑭外部からのプライバシーの確保」などで満足率、評点ともに高くなっています。

それに対して満足度が低いのが「⑧冷暖房の費用負担軽減など省エネルギー対応」で「やや不満」39.8%、「不満」12.7%を合わせると5割強が不満と回答しています。

また、「⑮住宅の総合的な評価」は「ほぼ満足」60.8%、「満足」22.0%で満足率 82.8%、評点 0.85 と高い評価となっています。





[評点算出の考え方]

- ・ 満足：2点、ほぼ満足：1点、やや不満：-1点、不満：-2点として、平均値を算出
- ・ 基準点は0点であり、値が正の場合、満足のほうが多いといえる。

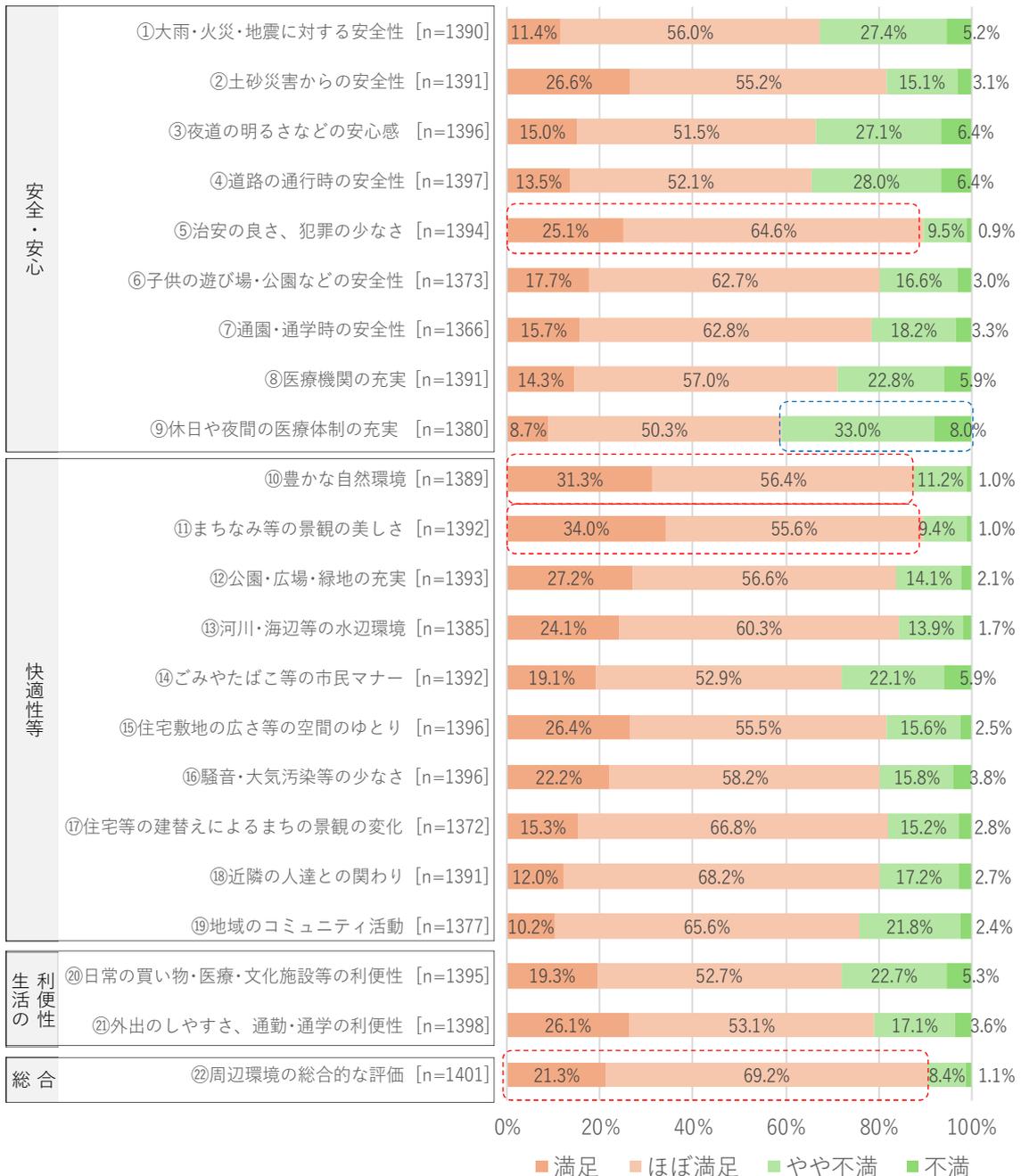
問 16：現在の住まいの周辺環境について、どのように思いますか。【各項目単一回答】

※各項目とも「無回答」を除いた回答数（n）で集計

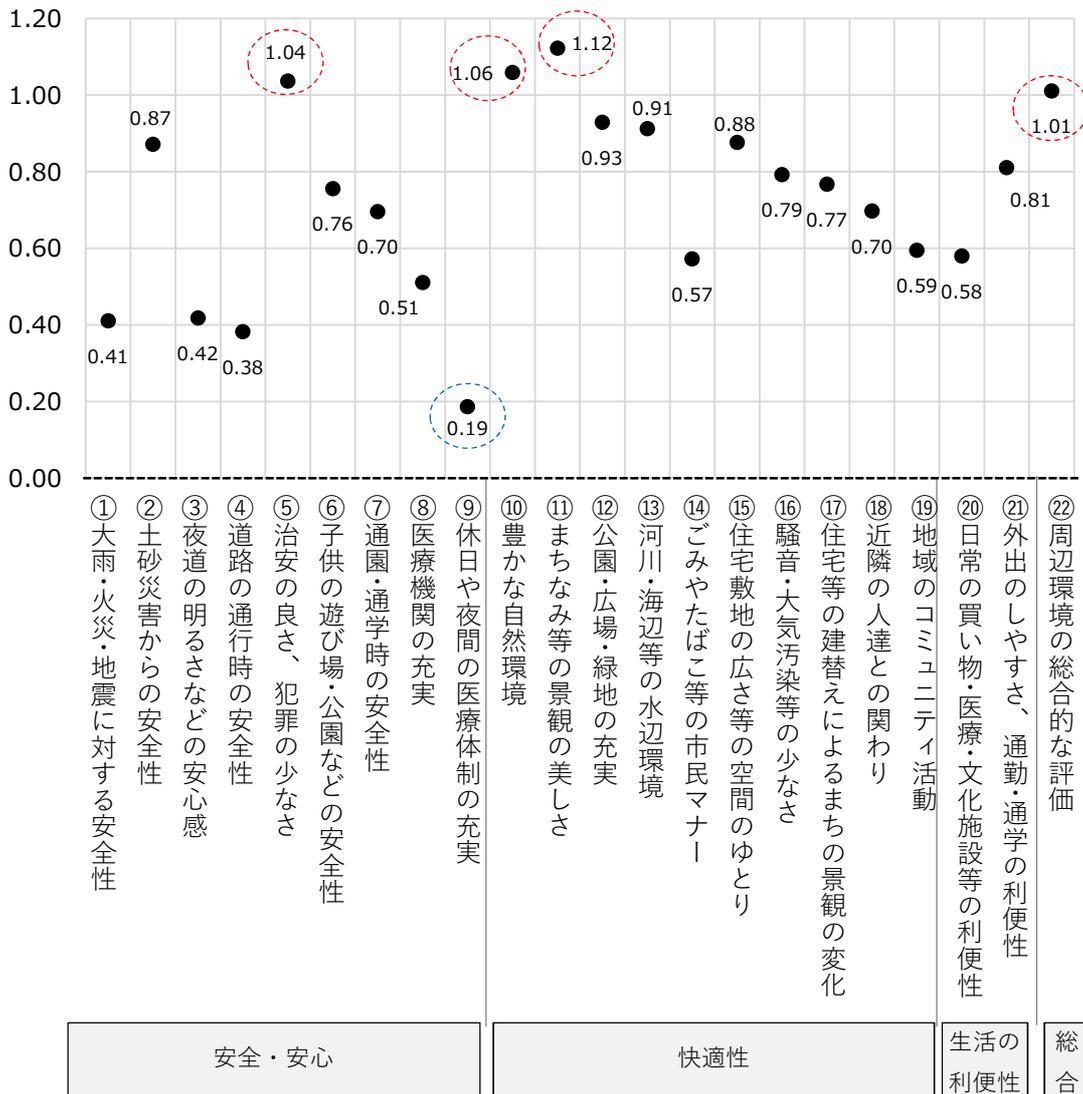
安心・安全に関する項目の「⑤治安の良さ、犯罪の少なさ」、快適性等の「⑪まちなみ等の景観の美しさ」、「⑩豊かな自然環境」などの満足度が約 9 割と高くなっています。

一方、安心・安全に関する項目の「⑨休日や夜間の医療体制の充実」では不満率が 4 割を超えており、全項目の中で最も満足度が低くなっています。

また、「⑳周辺環境の総合的な評価」は「ほぼ満足」69.2%、「満足」21.3%で合計満足率 90.5%、評点 1.01 と高い評価となっています。



【住まいの周辺の環境の満足度-評点】



安全・安心

快適性

生活の
利便性

総合

[評点算出の考え方]

- ・ 満足：2点、ほぼ満足：1点、やや不満：-1点、不満：-2点として、平均値を算出
- ・ 基準点は0点であり、値が正の場合、満足のほうが多いといえる。

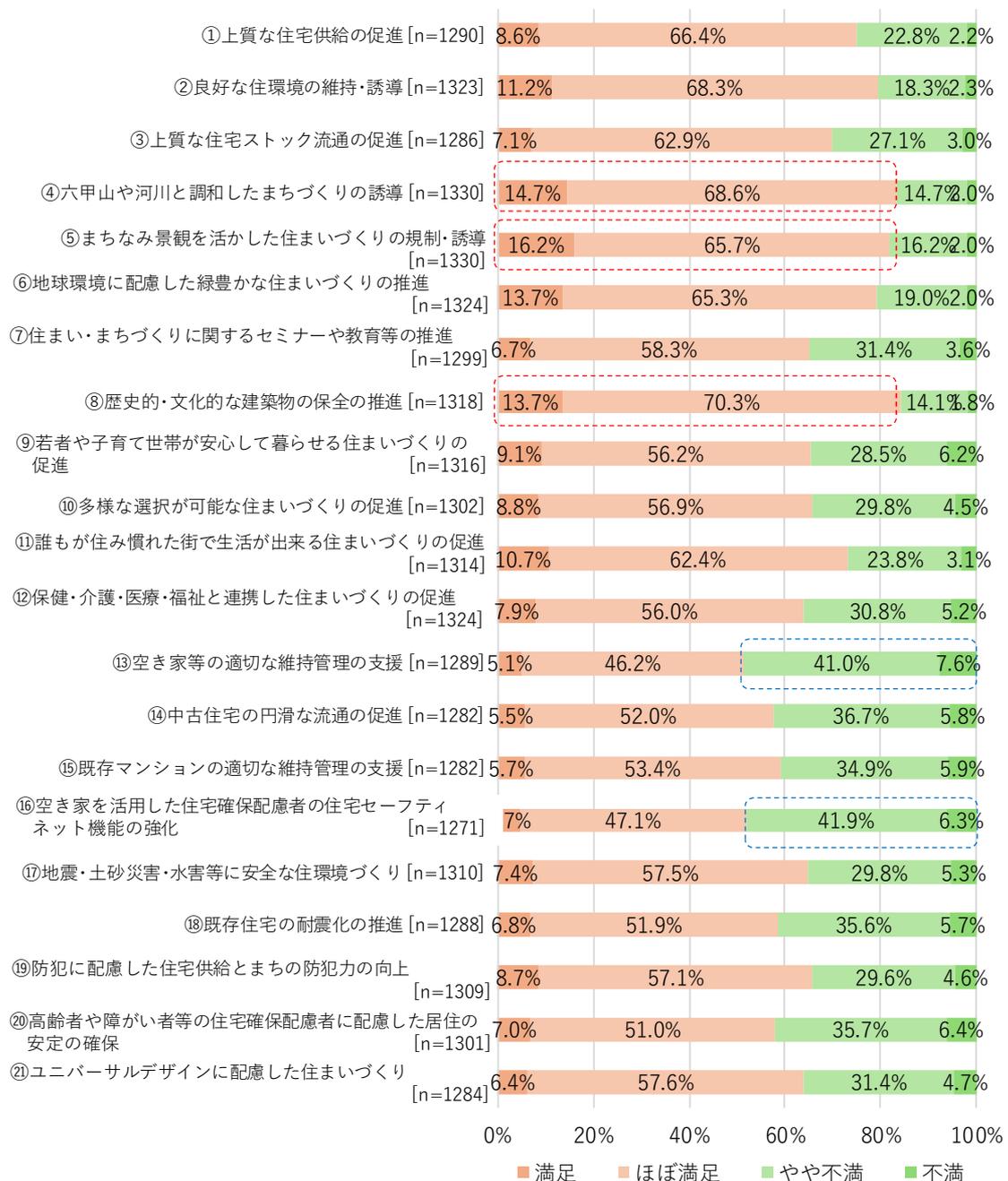
3. 今後の住宅施策について

問 17：住宅マスタープランにおいて取り組んできた下記の目標に対する満足度について、どのように思いますか。【各項目単一回答】

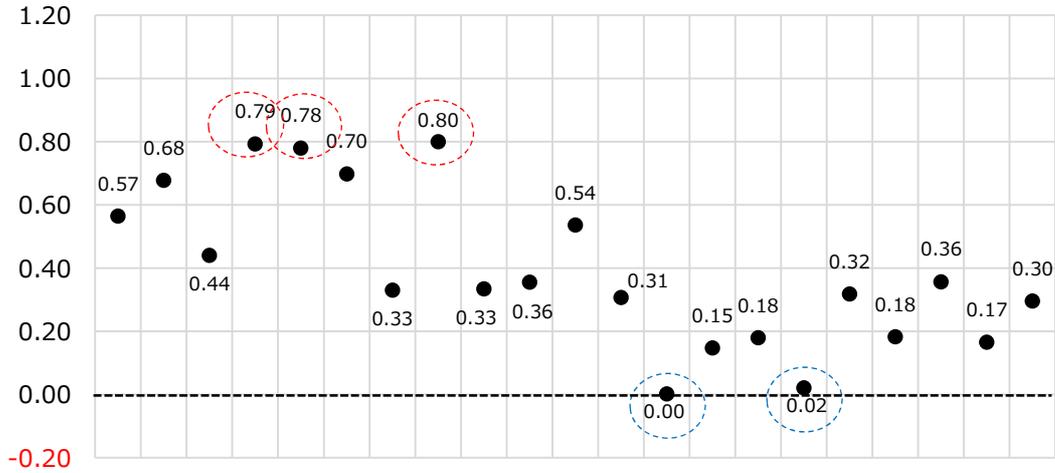
※各項目とも「無回答」を除いた回答数（n）で集計

住宅施策では、「⑧歴史的・文化的な建築物の保全の推進」が最も高く、その他「④六甲山や河川と調和したまちづくりの誘導」や「⑤まちなみ景観を活かした住まいづくりの規制・誘導」で満足率は8割を超え高くなっています。

それに対して、「⑬空き家等の適切な維持管理の支援」、「⑯空き家を活用した住宅確保配慮者の住宅セーフティ機能の強化」など空き家施策への満足度が低くなっています。



【住宅施策の満足度-評点】



- ① 上質な住宅供給の促進
- ② 良好な住環境の維持・誘導
- ③ 上質な住宅ストック流通の促進
- ④ 六甲山や河川と調和したまちづくりの誘導
- ⑤ まちなみ景観を活かした住まいづくりの規制・誘導
- ⑥ 地球環境に配慮した緑豊かな住まいづくりの推進
- ⑦ 住まい・まちづくりに関するセミナーや教育等の推進
- ⑧ 歴史的・文化的な建築物の保全の推進
- ⑨ 若者や子育て世帯が安心して暮らせる住まいづくりの促進
- ⑩ 多様な選択が可能な住まいづくりの促進
- ⑪ 誰もが住み慣れた街で生活が出来る住まいづくりの促進
- ⑫ 保健・介護・医療・福祉と連携した住まいづくりの促進
- ⑬ 空き家等の適切な維持管理の支援
- ⑭ 中古住宅の円滑な流通の促進
- ⑮ 既存マンションの適切な維持管理の支援
- ⑯ 空き家を活用した住宅確保配慮者の住宅セーフティネット機能の強化
- ⑰ 地震・土砂災害・水害等に安全な住環境づくり
- ⑱ 既存住宅の耐震化の推進
- ⑲ 防犯に配慮した住宅供給とまちの防犯力の向上
- ⑳ 高齢者や障がい者等の住宅確保配慮者に配慮した居住の安定の確保
- ㉑ ユニバーサルデザインに配慮した住まいづくりの促進

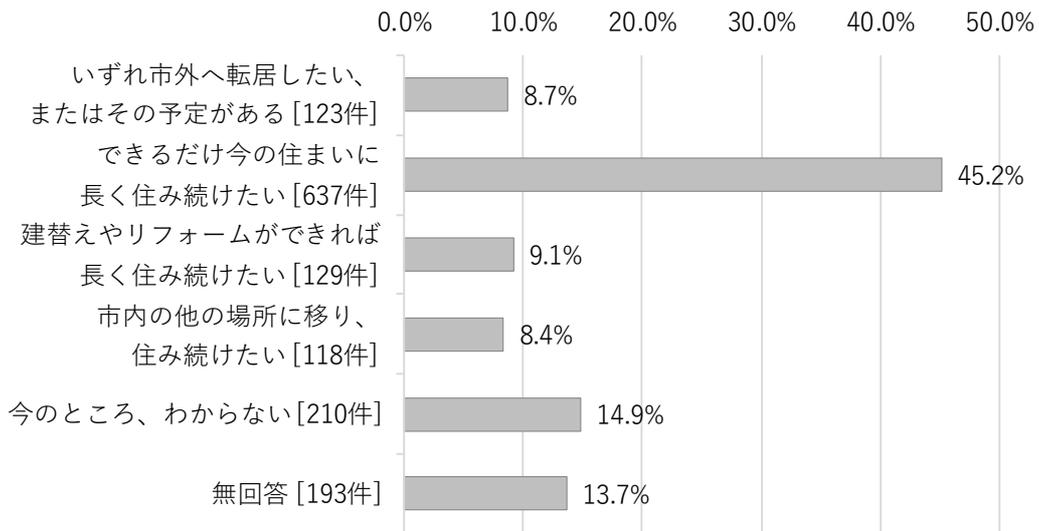
[評点算出の考え方]

- ・ 満足：2点、ほぼ満足：1点、やや不満：-1点、不満：-2点として、平均値を算出
- ・ 基準点は0点であり、値が正の場合、満足のほうが多いといえる。

4. 今後の住まい方や環境について

問 18：住まいに関する、今後の意向についてお答えください【単一回答】

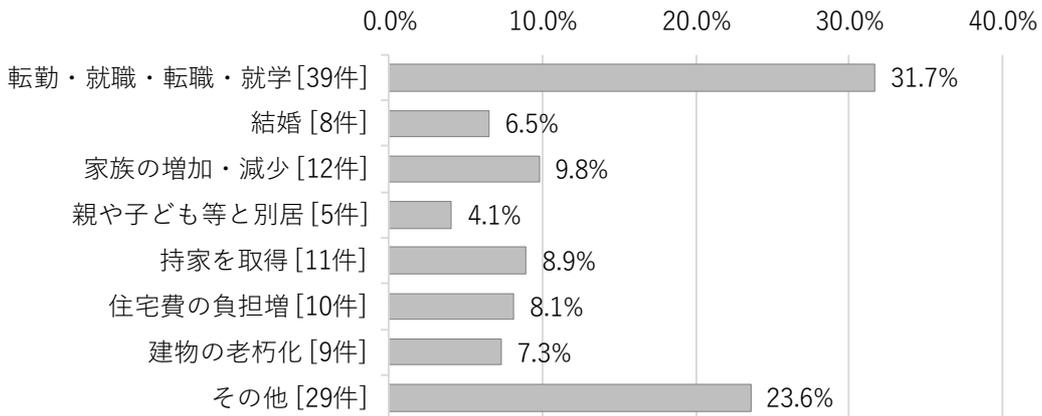
「できるだけ今の住まいに長く住みたい」が 45.2%と最も多く、「建替えやリフォームができれば長く住みたい」9.1%、「市内の他の場所に移り、住みたい」8.4%と合わせると 6 割強が、芦屋市内で住みたいとしています。一方、「いずれ市外へ転居したい」は 8.7%と 1 割弱となっています。



問 18 付問 1：市外へ転居する理由は何ですか【単一回答】

※ 「いずれ市外へ転居したい」と回答した 123 件について

「転勤・就職・転職・就学」が 31.7%と最も多くなっています。



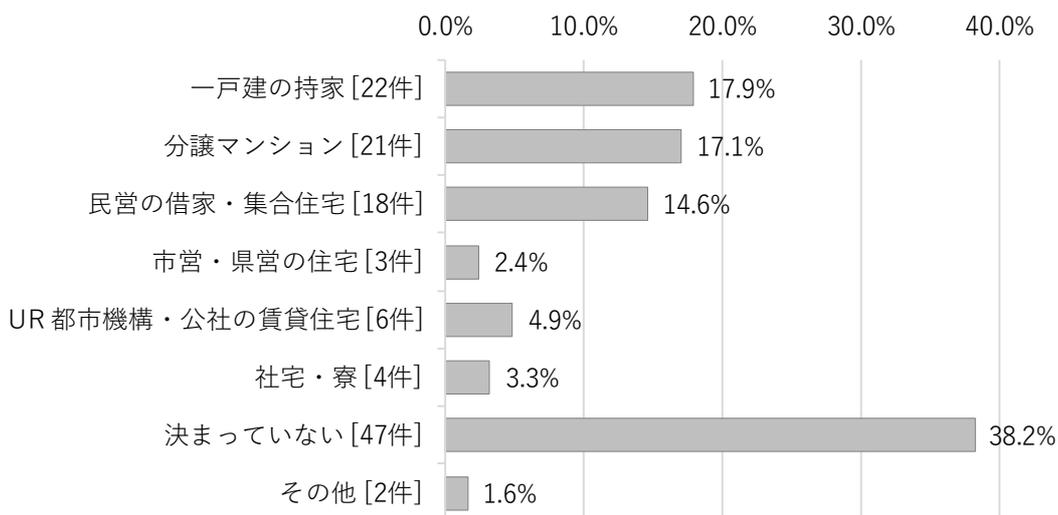
その他の理由（主なもの）

| | | | |
|-----------|---|------------|---|
| ・ 家族のため | 7 | ・ 老後のため | 2 |
| ・ 芦屋の魅力低下 | 3 | ・ 田舎暮らしのため | 2 |
| ・ 利便性を求めて | 2 | | |

問 18 付問 2：転居先の住宅の形態は何ですか【単一回答】

※「いずれ市外へ転居したい」と回答した 123 件について

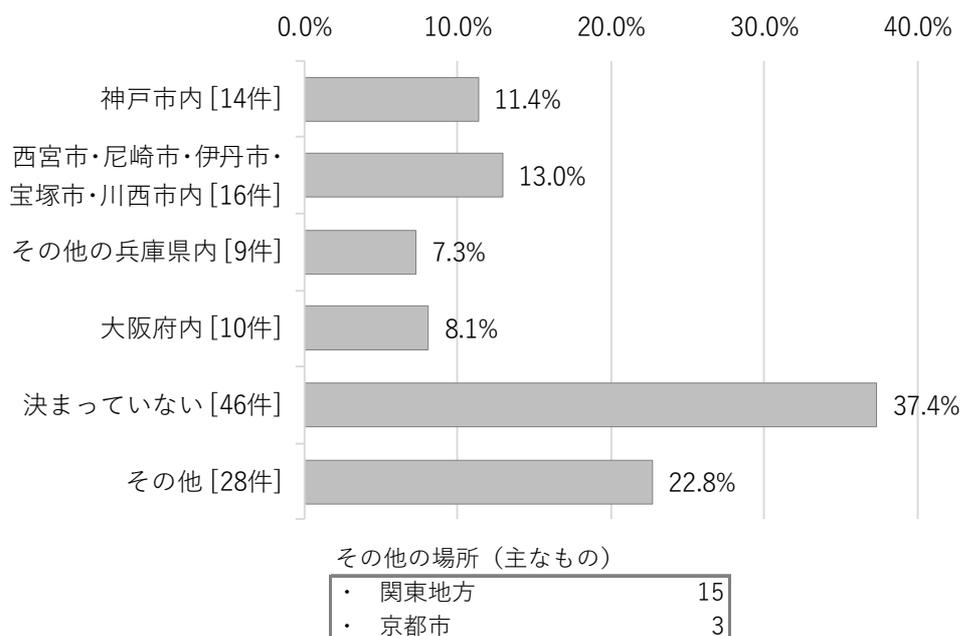
約 4 割が「決まっていない」としていますが、回答があった住宅の形態は「一戸建の持家」が 17.9%、「分譲マンション」が 17.1%、「民営の借家・集合住宅」が 14.6%と概ね 3 分しています。



問 18 付問 3：市外へ転居する場所はどこですか【単一回答】

※「いずれ市外へ転居したい」と回答した 123 件について

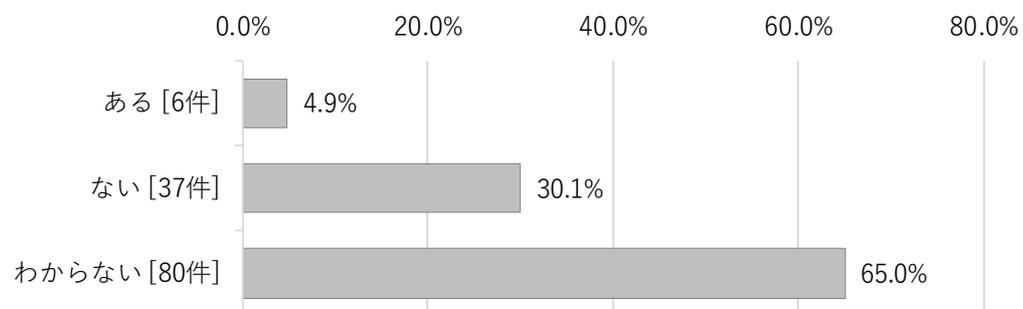
約 4 割が「決まっていない」としていますが、回答があったものの中では「西宮市・尼崎市・伊丹市・宝塚市・川西市内」が 13.0%で他の地域に比べやや多くなっています。



問 18 付問 4：転居後、再び芦屋市に住む予定はありますか【単一回答】

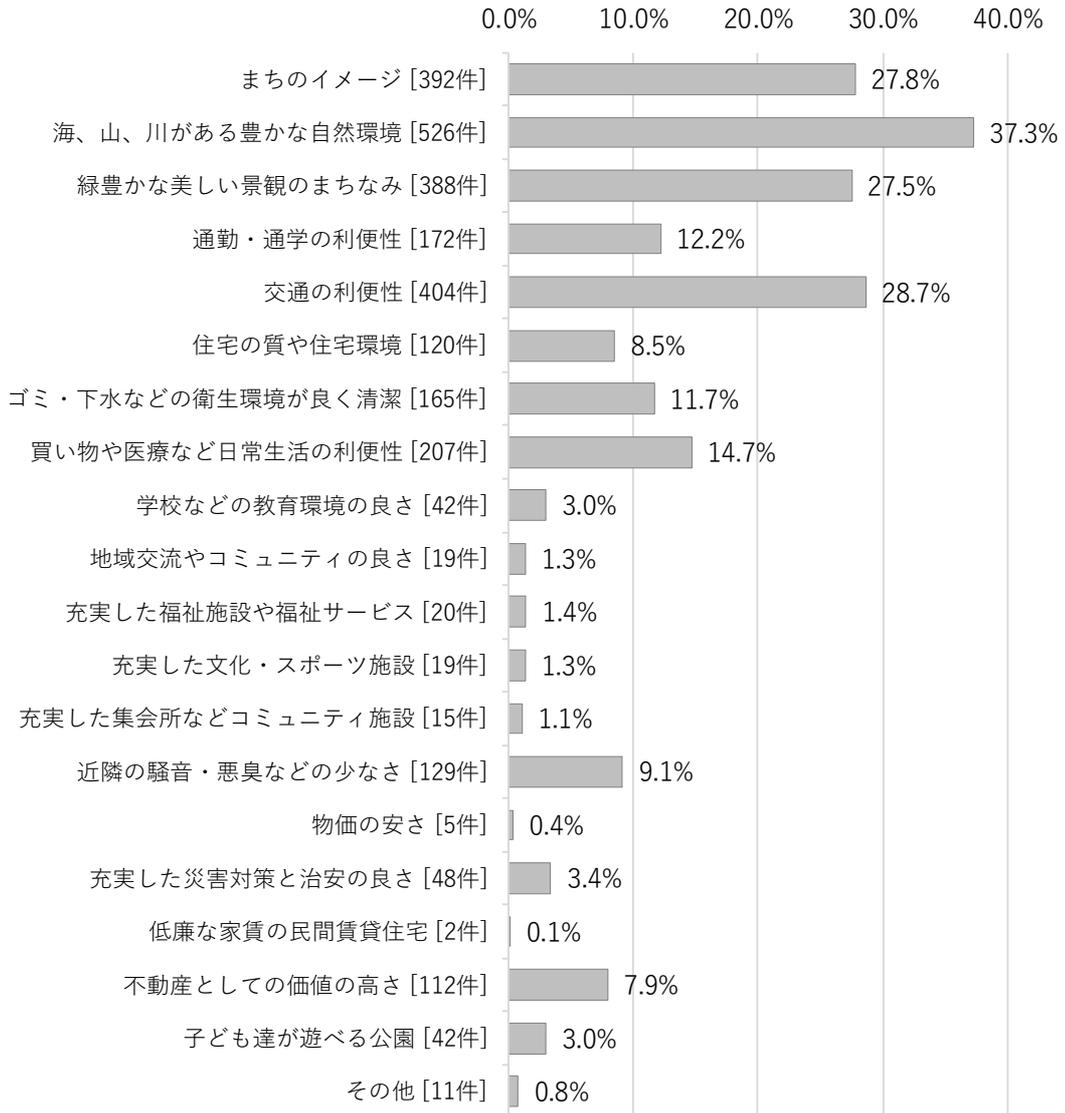
※「いずれ市外へ転居したい」と回答した 123 件について

65%が「わからない」と回答していますが、再び芦屋に住む予定が「ない」が 30.1%で、「ある」は 4.9%にとどまっています。



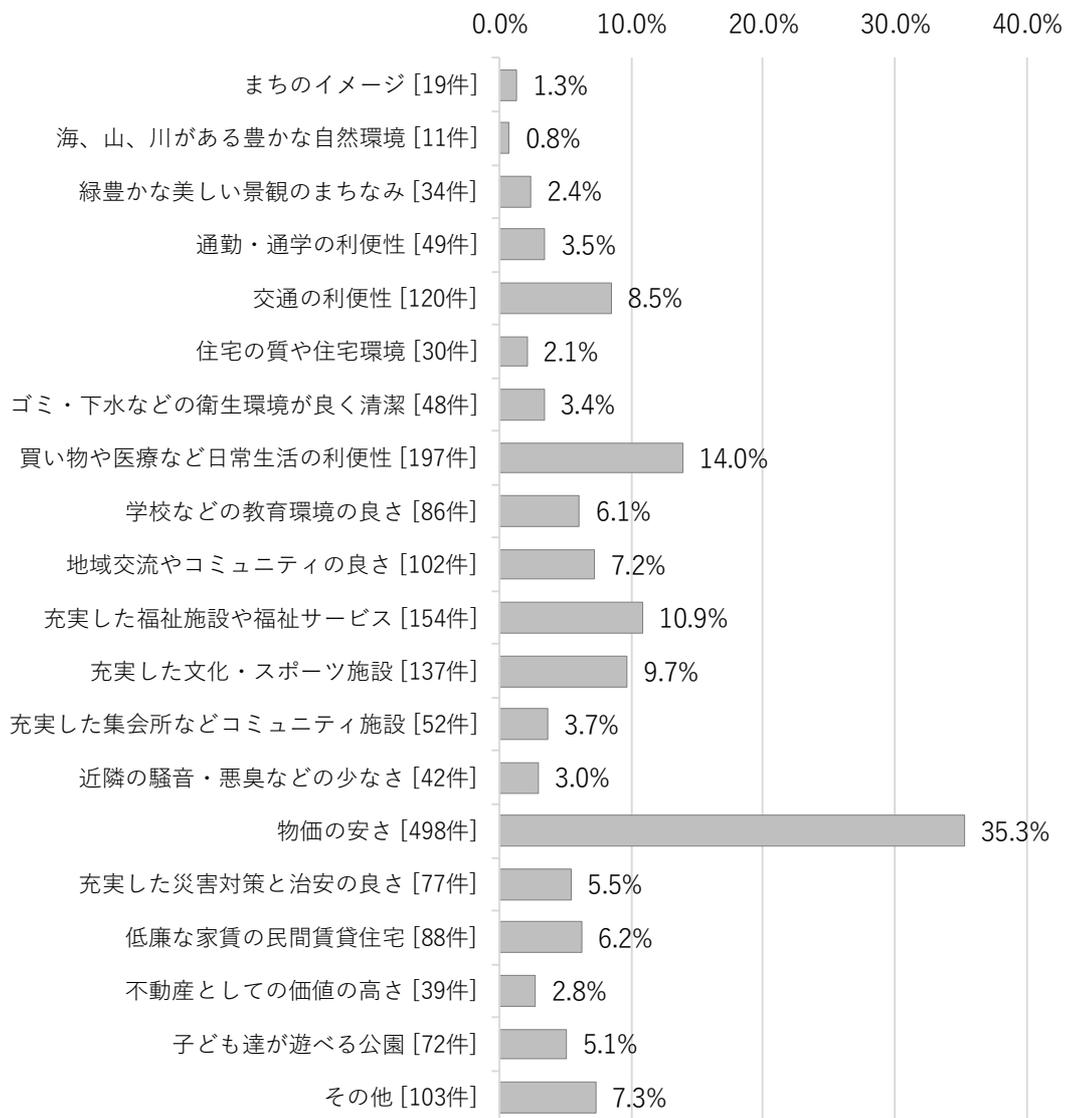
問 19：本市の良さは、どのようなところだと思いますか。【複数回答】

「海、山、川がある豊かな自然環境」が 37.3%と最も多く、次いで「交通の利便性」28.7%、「まちのイメージ」27.8%、「緑豊かな美しい景観のまちなみ」27.5%の順で多くなっています。



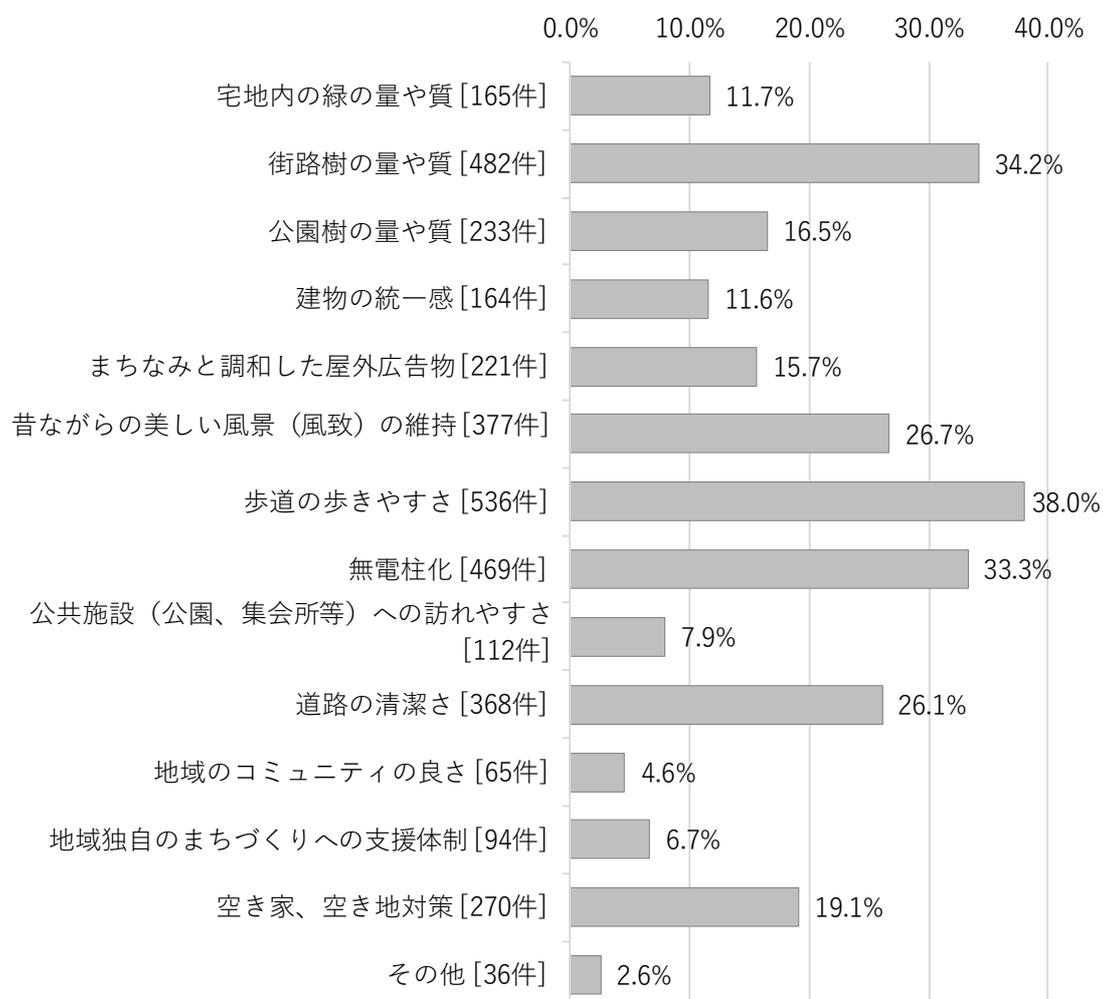
問 20：本市で不足している部分は、どのようなところだと思いますか【複数回答】

「物価の安さ」が 35.3%で最も多くなっています。次いで「買い物や医療など日常生活の利便性」が 14.0%で多くなっています。



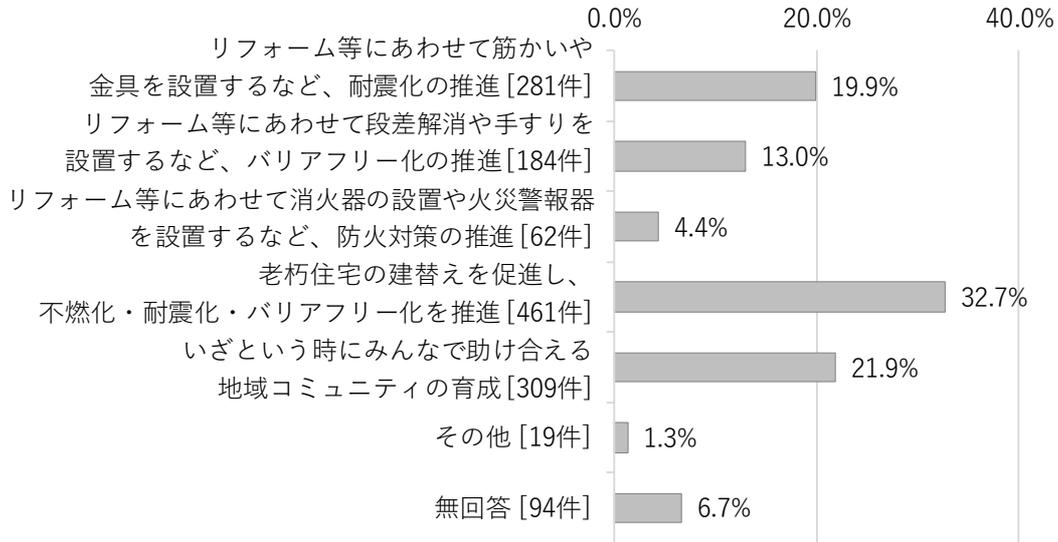
**問 21：「緑豊かな美しい景観のまちなみ」をつくる上で、大切だと思うものについて
お答えください【複数回答】**

「歩道の歩きやすさ」が38.0%と最も多く、次いで「街路樹の量や質」34.2%、「無電柱化」33.3%の順で多くなっています。



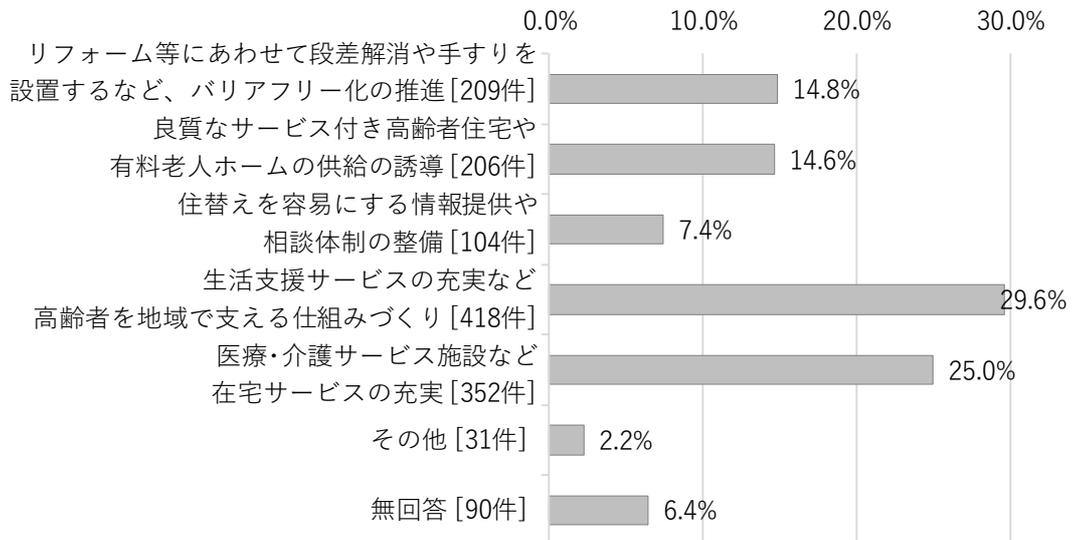
問 22：住まいの安全・安心を確保するために、どのような点が最も重要だと思いますか【単一回答】

「老朽住宅の建替えを促進し、不燃化・耐震化・バリアフリー化を推進」が 32.7%と最も多く、次いで「いざという時にみんなで助け合える地域コミュニティの育成」が 21.9%で多くなっています。



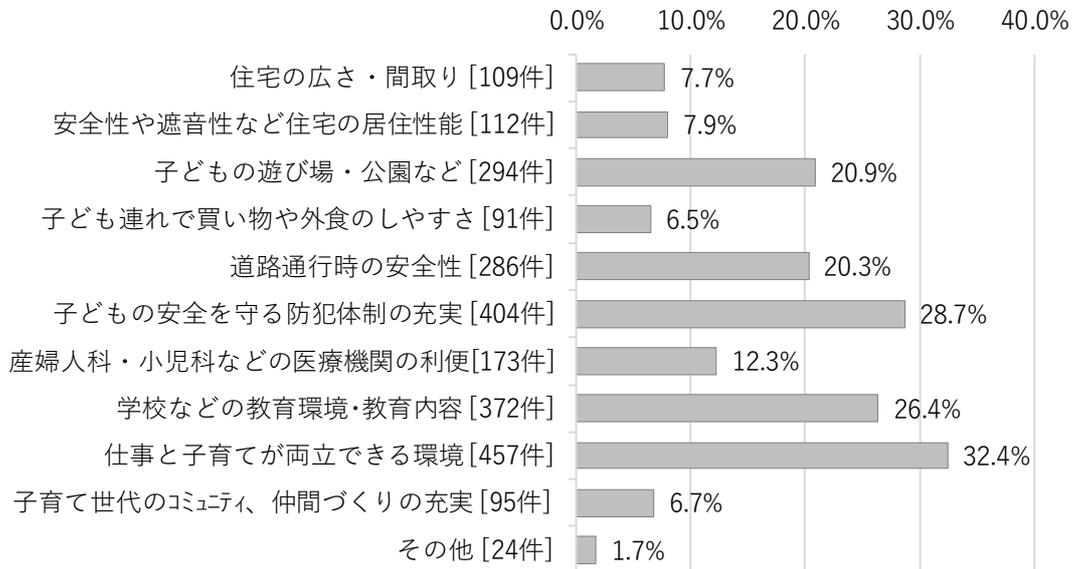
問 23：高齢者の暮らし方に対応した住まいづくりとしてどのような点が最も重要だと思いますか【単一回答】

「生活支援サービスの充実など高齢者を地域で支える仕組みづくり」が 29.6%と最も多く、次いで「医療・介護サービス施設など在宅サービスの充実」が 25.0%で多くなっています。



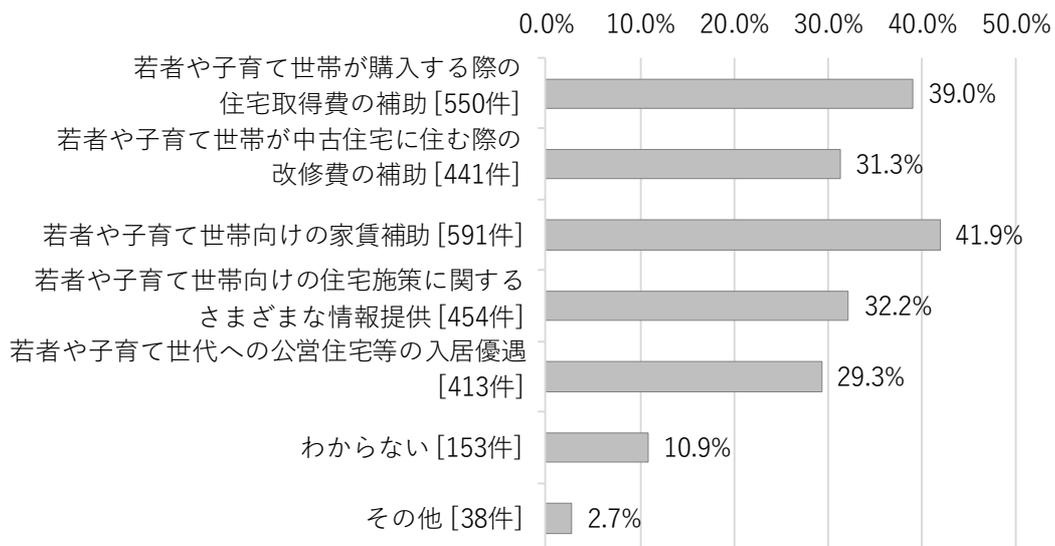
**問 24：子育てをするうえで住宅や環境についてどのような点が重要だと思いますか。
（現在、子育てをされていない方もお答えください）【複数回答】**

「仕事と子育てが両立できる環境」が 32.4%と最も多く、次いで「子どもの安全を守る防犯体制の充実」が 28.7%で多くなっています。



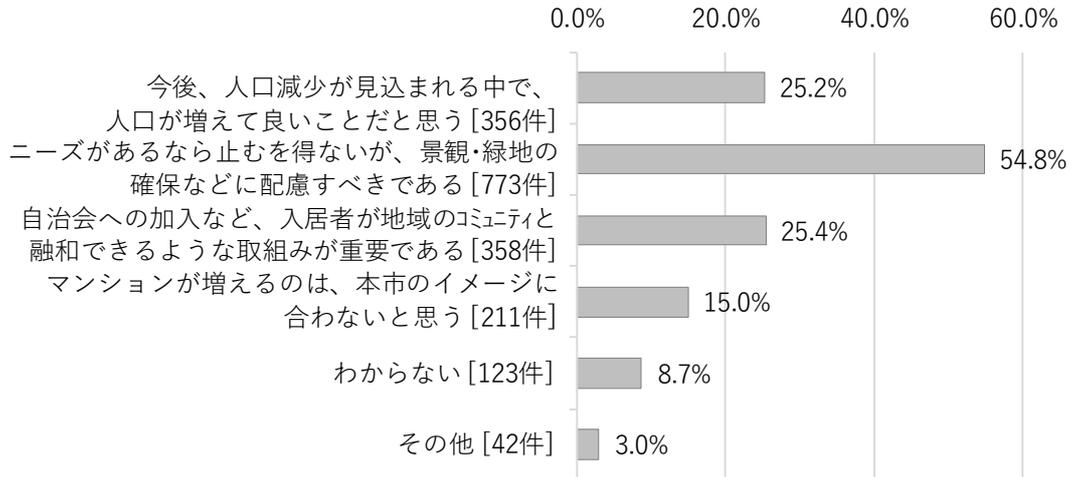
問 25：若者や子育て世帯向けの住宅施策を推進するために、今後どのような取組が必要だと思いますか。【複数回答】

「若者や子育て世帯向けの家賃補助」が 41.9%と最も多く、次いで「若者や子育て世帯が購入する際の住宅取得費の補助」が 39.0%で多くなっています。



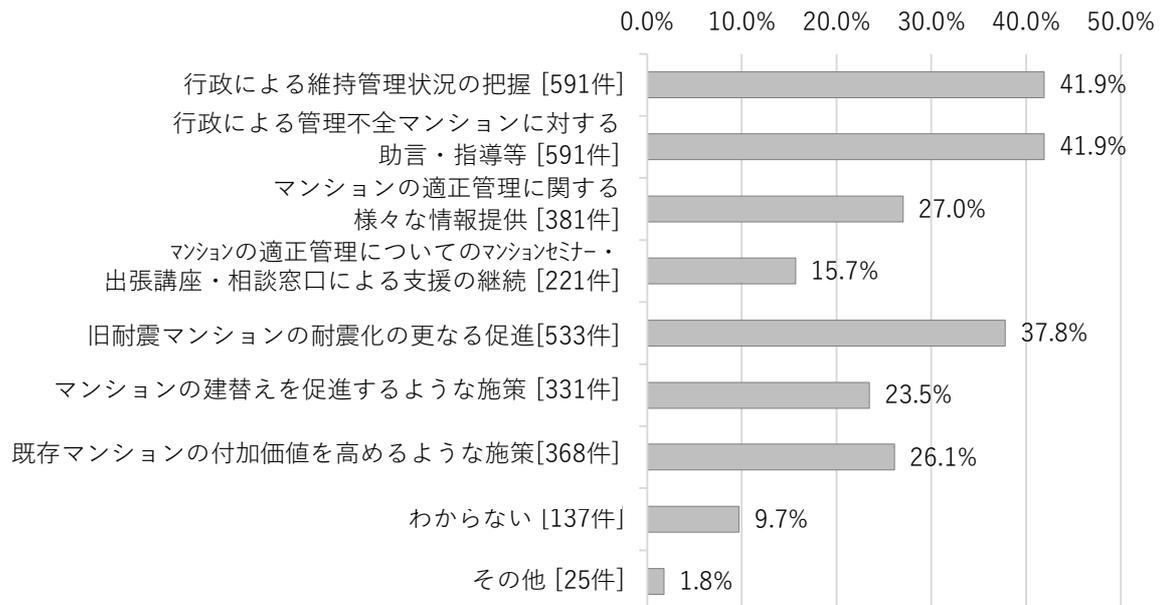
問 26：市内でのマンション建設について、どのように考えられますか【複数回答】

「ニーズがあるなら止むを得ないが、景観・緑地の確保などに配慮すべきである」が54.8%と最も多く、次いで「自治会への加入など、入居者が地域のコミュニティと融和できるような取組みが重要である」25.4%、「今後、人口減少が見込まれる中で、人口が増えて良いことだと思う」25.2%の順で多くなっています。



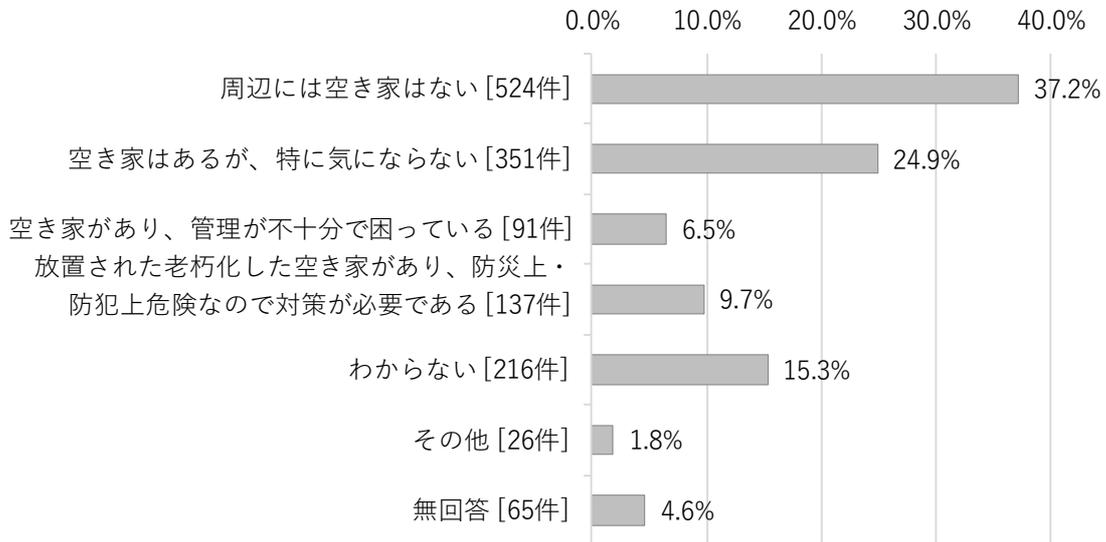
問 27：全国的にマンションの老朽化等が社会問題になっていますが、本市のマンション施策としては、今後どのような取組が必要だと思いますか。【複数回答】

「行政による維持管理状況の把握」と「行政による管理不全マンションに対する助言・指導等」がそれぞれ41.9%で最も多くなっています。次いで「旧耐震マンションの耐震化の更なる促進」が37.8%で多くなっています。



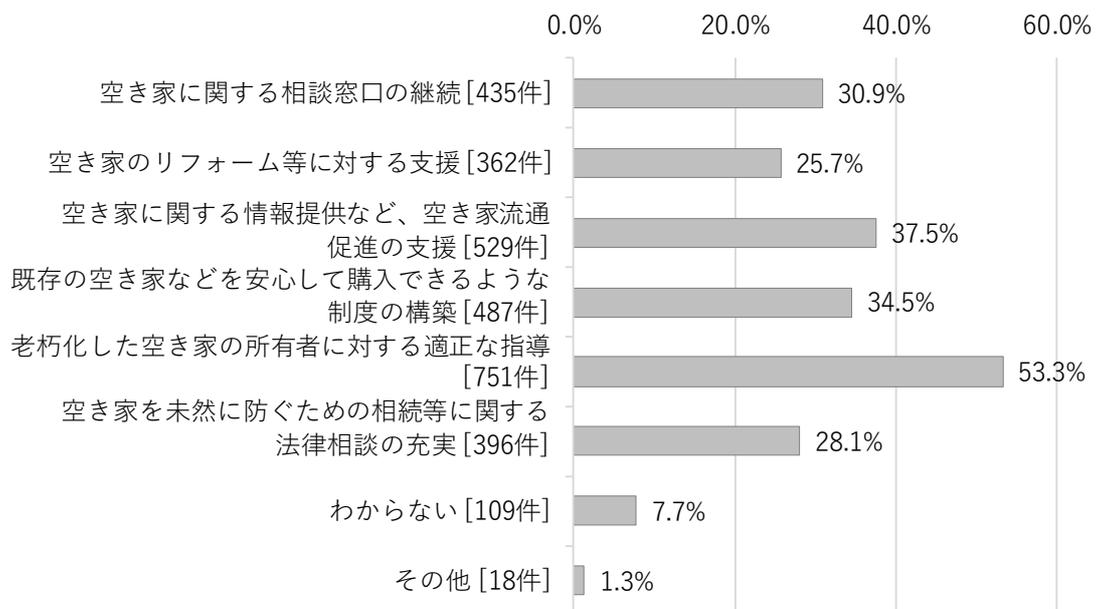
問 28：全国的に管理が不十分な空き家が問題となっていますが、あなたの住まいの周辺ではいかがですか【単一回答】

「周辺には空き家はない」が 37.2%と最も多く、次いで「空き家はあるが、特に気にならない」が 24.9%で多くなっています。



問 29：空き家など既存の住宅を活用していくために、今後どのような取組が必要だと思いますか【複数回答】

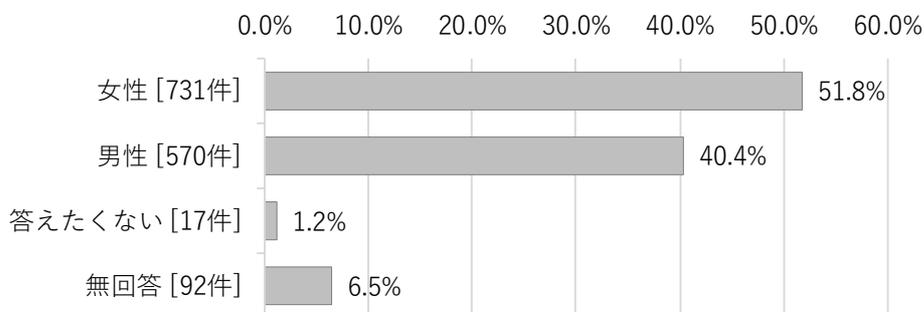
「老朽化した空き家の所有者に対する適正な指導」が 53.3%と最も多く、次いで「空き家に関する情報提供など、空き家流通促進の支援」が 37.5%で多くなっています。



5. あなた自身のことについて

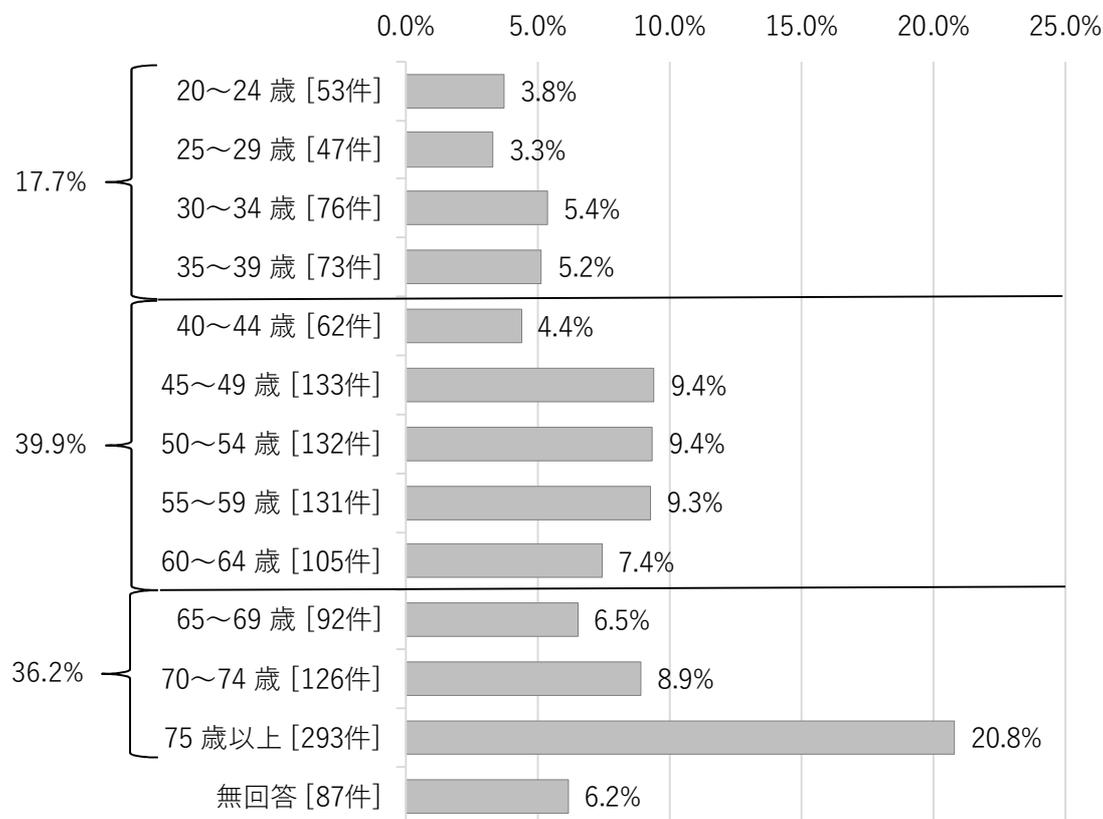
問 30：あなたの性別をお聞かせください【単一回答】

「女性」が 51.8%、「男性」が 40.4%で、女性の回答がやや多くなっています。



問 31：あなたの年齢をお聞かせください【単一回答】

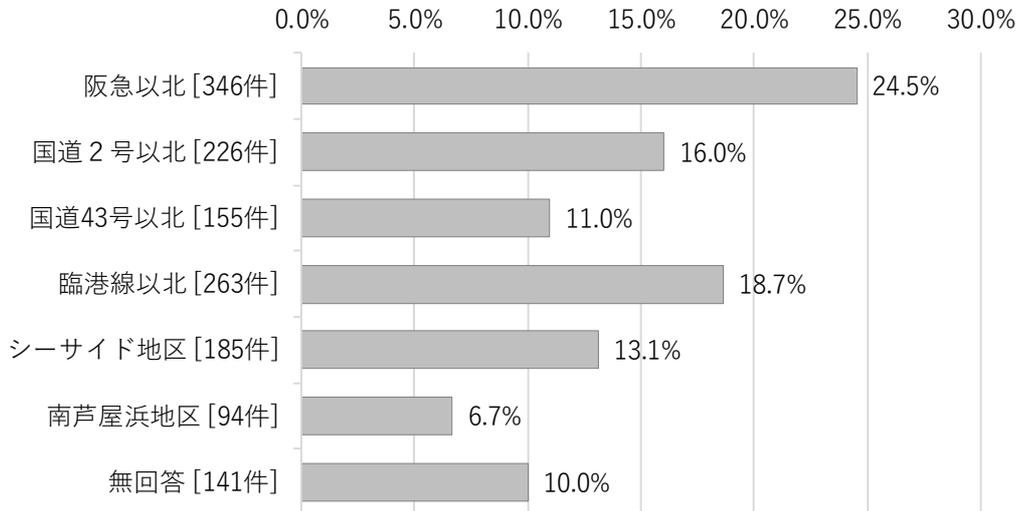
「75歳以上」が 20.8%と最も多く、次いで「45～49歳」と「50～54歳」がそれぞれ 9.4%、「55～59歳」が 9.3%と続いています。また年齢を 3 区分で集計すると、「20～39歳」が 17.7%、「40～64歳」が 39.9%、「65歳以上」が 36.2%で、「40～64歳」の中高年層の回答が多くなっています。



問 32：現在、何町に住んでいますか【記述回答】

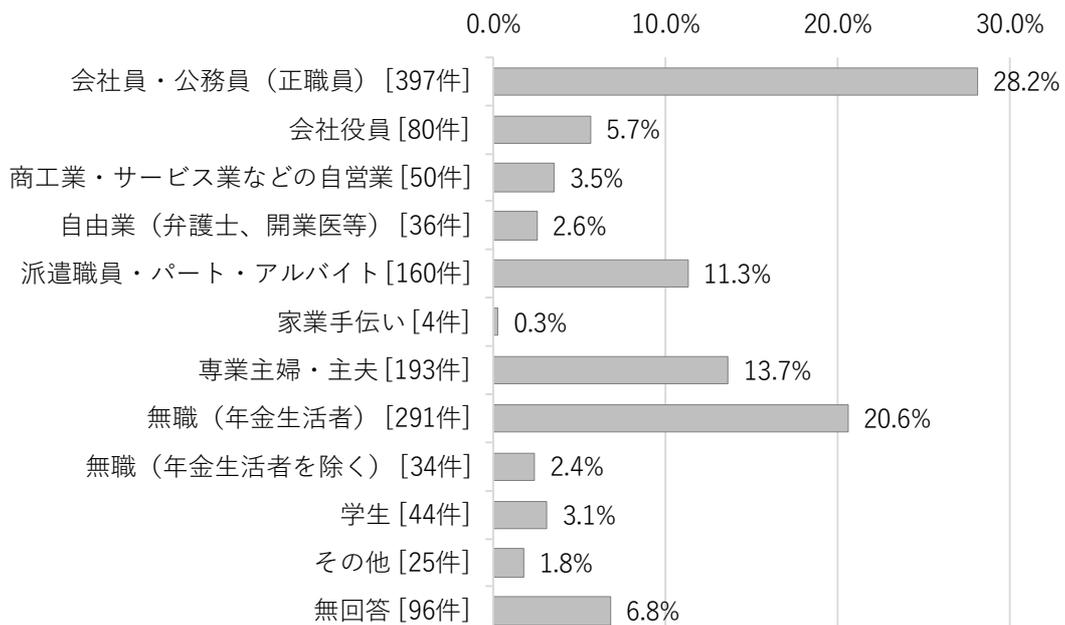
※ 記述された町名を市内 6 地区に分類

居住地について市内を 6 地区に分けると、「阪急以北」が 24.5%と最も多く、次いで「臨港線以北」が 18.7%で多くなっています。



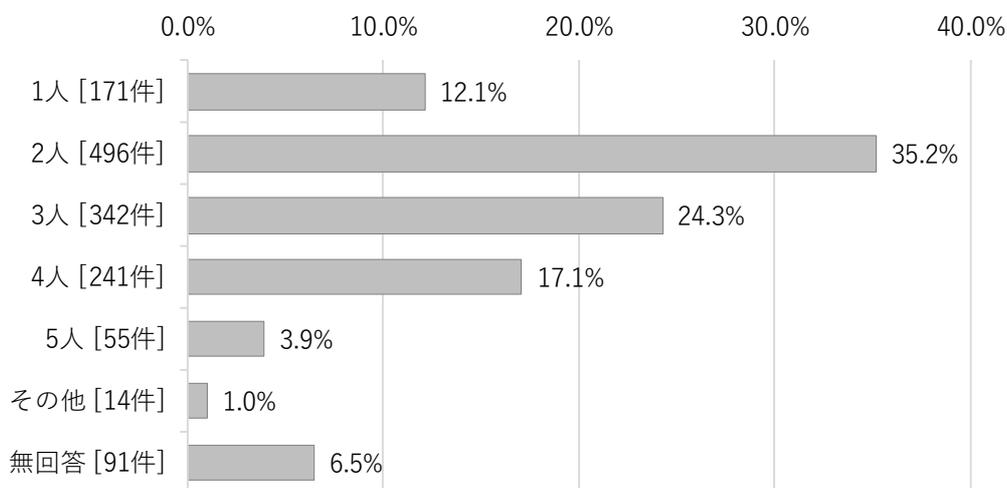
問 33：あなたの職業は何ですか【単一回答】

「会社員・公務員（正職員）」が 28.2%と最も多く、次いで「無職（年金生活者）」が 20.6%で多くなっています。



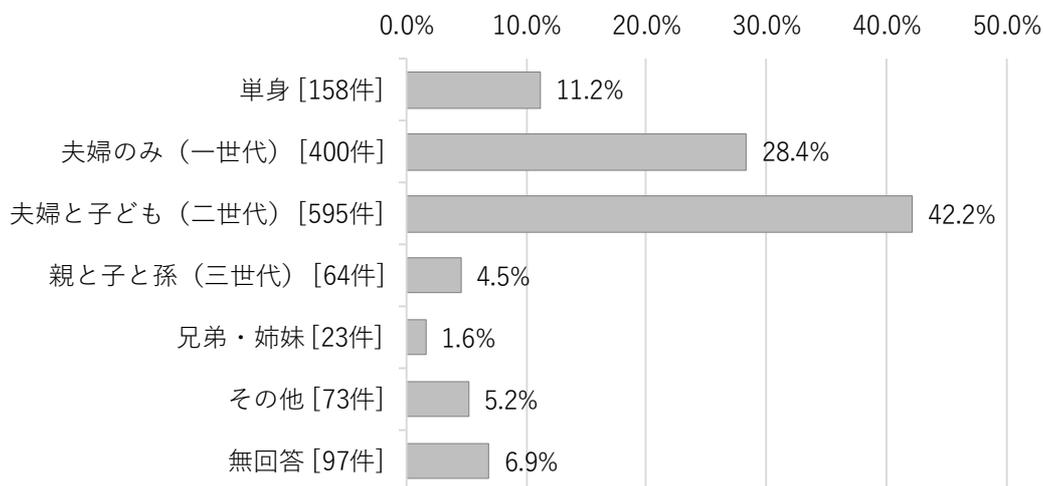
問 34：あなたも含めて、一緒に住んでいる家族の人数は何人ですか【単一回答】

「2人」が35.2%と最も多く、次いで「3人」が24.3%で多くなっています。



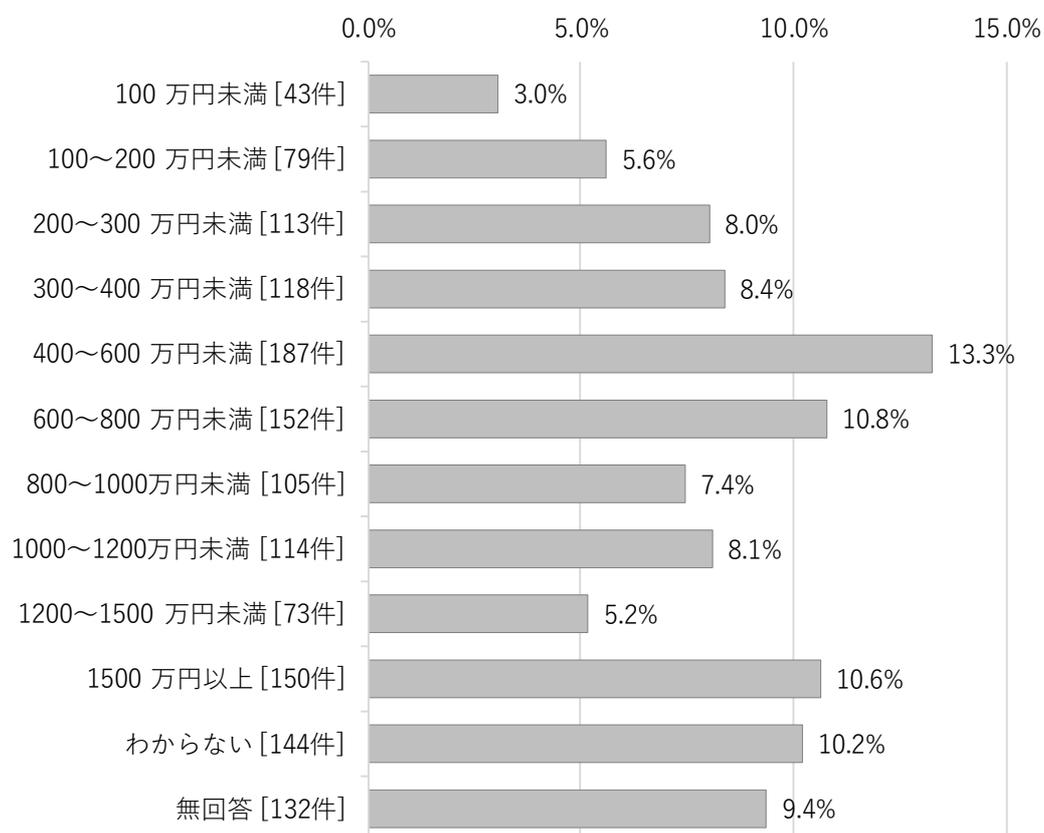
問 35：どのような方と一緒に住んでいますか【単一回答】

「夫婦と子ども（二世帯）」が42.2%と最も多く、次いで「夫婦のみ（一世帯）」が28.4%で多くなっています。



問 36：一緒に住んでいる方全員の年収の合計はどれくらいですか【単一回答】

「400～600 万円未満」が 13.3%と最も多く、次いで「600～800 万円未満」10.8%、「1,500 万円以上」10.6%の順で多くなっています。



Ⅲ. 前回アンケート調査との比較

平成29年2月に実施した「芦屋市すまいのアンケート調査」と、今回のアンケート調査は、内容を一部踏襲して実施しました。前回アンケート調査の項目と同様のものを比較し、傾向を把握しました。

問3：現在の住まいに住むことになったきっかけ【単一回答】

前回調査より「子どもの出生・成長のため」が増加し、「結婚のため」は若干減少しています。

| 項目 | R6 [今回] | | H29 [前回] | | 前回との差 (ポイント) |
|------------------|---------|-------|----------|-------|-----------------|
| | 件数 | % | 件数 | % | |
| 1 結婚のため | 141 | 10.0 | 174 | 11.7 | -1.7 |
| 2 子どもの出生・成長のため | 248 | 17.6 | 205 | 13.8 | 3.8 |
| 3 親や家族と同居、近居のため | 243 | 17.2 | 245 | 16.5 | 0.7 |
| 4 親と別居するため | 17 | 1.2 | 31 | 2.1 | -0.9 |
| 5 就職・転職・転勤・退職のため | 186 | 13.2 | 183 | 12.3 | 0.9 |
| 6 入学・進学のため | 48 | 3.4 | 36 | 2.4 | 1.0 |
| 7 生まれた時から住んでいるため | 81 | 5.7 | 69 | 4.6 | 1.1 |
| 8 その他 | 429 | 30.4 | 521 | 35.1 | -4.6 |
| 9 不明 | 17 | 1.2 | 22 | 1.5 | -0.3 |
| 全体 | 1,410 | 100.0 | 1,486 | 100.0 | |

問3付問：問3の「1, 4, 5, 6」を選んだ理由【複数回答】

前回調査と比較して、ほとんどの項目で前回より回答率が減少しており、特に「通勤・通学の利便性」、「地域イメージの良さ」、「生活環境の良さ（まちの清潔さ）」などが10～8ポイント減少しています。

| 項目 (上位10項目を抜粋) | R6 [今回] | | H29 [前回] | | 前回との差 (ポイント) |
|--------------------|---------|-------|----------|-------|-----------------|
| | 件数 | % | 件数 | % | |
| 1 家族が住んでいる | 60 | 15.3 | 87 | 20.5 | -5.2 |
| 2 親族・友人が住んでいる | 38 | 9.7 | 57 | 13.4 | -3.7 |
| 3 地域イメージの良さ | 108 | 27.6 | 151 | 35.6 | -8.0 |
| 4 豊かな自然環境 | 47 | 12.0 | 78 | 18.4 | -6.4 |
| 5 緑豊かな美しい景観のまちなみ | 84 | 21.4 | 116 | 27.4 | -6.0 |
| 6 通勤・通学の利便性 | 111 | 28.3 | 162 | 38.2 | -9.9 |
| 7 買い物や医療など日常生活の利便性 | 56 | 14.3 | 77 | 18.2 | -3.9 |
| 8 気に入った住宅があった | 90 | 23.0 | 118 | 27.8 | -4.8 |
| 11 学校などの教育環境の良さ | 33 | 8.4 | 40 | 9.4 | -1.0 |
| 16 生活環境の良さ（まちの清潔さ） | 96 | 24.5 | 138 | 32.5 | -8.0 |
| 全体 | 392 | 100.0 | 424 | 100.0 | |

問4：住まいの所有関係【単一回答】

前回調査とほぼ同じ傾向ですが、「民間の賃貸住宅」の割合がやや増加しています。

| 項目 | R6 [今回] | | H29 [前回] | | 前回との差 (ポイント) |
|------------------|---------|-------|----------|-------|-----------------|
| | 件数 | % | 件数 | % | |
| 1 持家（分譲マンション含む） | 1,087 | 77.1 | 1,138 | 76.6 | 0.5 |
| 2 民間の賃貸住宅 | 187 | 13.3 | 176 | 11.8 | 1.5 |
| 3 UR都市機構・公社の賃貸住宅 | 52 | 3.7 | 53 | 3.6 | 0.1 |
| 4 市営・県営の住宅 | 52 | 3.7 | 62 | 4.2 | -0.5 |
| 5 社宅・寮 | 14 | 1.0 | 27 | 1.8 | -0.8 |
| 6 その他 | 15 | 1.1 | 20 | 1.3 | -0.2 |
| 7 無回答 | 3 | 0.2 | 10 | 0.7 | -0.5 |
| 全体 | 1,410 | 100.0 | 1,486 | 100.0 | |

問7：住まいの広さ【単一回答】

※「わからない」、「無回答」を除いて集計

【戸建持家】

「100～124㎡」、「125～149㎡」のやや広い戸建て住宅の割合が減少し、「50～74㎡」、「25～49㎡」の狭い住宅の割合が増加しています。

| 項目 | R6 [今回] | | H29 [前回] | | 前回との差 (ポイント) |
|----------|---------|-------|----------|-------|-----------------|
| | 件数 | % | 件数 | % | |
| 25㎡未満 | 2 | 0.5 | 3 | 0.7 | -0.1 |
| 25～49㎡ | 27 | 7.0 | 23 | 5.1 | 1.9 |
| 50～74㎡ | 24 | 6.2 | 14 | 3.1 | 3.1 |
| 75～99㎡ | 35 | 9.1 | 45 | 9.9 | -0.8 |
| 100～124㎡ | 77 | 19.9 | 103 | 22.6 | -2.7 |
| 125～149㎡ | 70 | 18.1 | 92 | 20.2 | -2.1 |
| 150㎡以上 | 151 | 39.1 | 175 | 38.5 | 0.7 |
| 全体 | 386 | 100.0 | 455 | 100.0 | |

【分譲マンション】

分譲マンションの住戸面積について、ボリュームゾーンである「75～99㎡」の割合が減少して、「100～124㎡」、「150㎡以上」の割合が増加、広い方にシフトしています。

| 項目 | R6 [今回] | | H29 [前回] | | 前回との差 (ポイント) |
|----------|---------|-------|----------|-------|-----------------|
| | 件数 | % | 件数 | % | |
| 25㎡未満 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.0 |
| 25～49㎡ | 8 | 1.5 | 19 | 3.5 | -2.0 |
| 50～74㎡ | 151 | 27.4 | 159 | 28.9 | -1.5 |
| 75～99㎡ | 281 | 51.0 | 312 | 56.7 | -5.7 |
| 100～124㎡ | 83 | 15.1 | 39 | 7.1 | 8.0 |
| 125～149㎡ | 14 | 2.5 | 17 | 3.1 | -0.6 |
| 150㎡以上 | 14 | 2.5 | 4 | 0.7 | 1.8 |
| 全体 | 551 | 100.0 | 550 | 100.0 | |

【賃貸マンション】

賃貸マンションの広さについては、「25～49㎡」、「75～99㎡」の割合が減少して、「25㎡未満」、「100～124㎡」の割合が増加しており、数の増加に伴い住戸面積も多様化していることがうかがえます。

| 項目 | R6 [今回] | | H29 [前回] | | 前回との差 (ポイント) |
|----------|---------|-------|----------|-------|-----------------|
| | 件数 | % | 件数 | % | |
| 25㎡未満 | 11 | 7.2 | 4 | 2.8 | 4.5 |
| 25～49㎡ | 26 | 17.1 | 30 | 20.7 | -3.6 |
| 50～74㎡ | 72 | 47.4 | 71 | 49.0 | -1.6 |
| 75～99㎡ | 31 | 20.4 | 33 | 22.8 | -2.4 |
| 100～124㎡ | 9 | 5.9 | 4 | 2.8 | 3.2 |
| 125～149㎡ | 3 | 2.0 | 3 | 2.1 | -0.1 |
| 150㎡以上 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.0 |
| 全体 | 152 | 100.0 | 145 | 100.0 | |

問 8：住まいが建てられた時期【単一回答】

昭和 56 年（新耐震基準）以前の割合は、前回調査の 22.7%から 4.4 ポイント減少し、18.3%となっています。

| 項目 | R6 [今回] | | H29 [前回] | | 前回との差 (ポイント) |
|--------------|---------|-------|----------|-------|-----------------|
| | 件数 | % | 件数 | % | |
| 昭和56年以前（旧耐震） | 258 | 18.3 | 336 | 22.7 | -4.4 |
| 昭和56年以降（新耐震） | 1,006 | 71.3 | 1,066 | 71.7 | -0.4 |
| 不明 | 146 | 10.4 | 84 | 5.6 | 4.8 |
| 全体 | 1,410 | 100.0 | 1,486 | 100.0 | |

問 18：住まいに関する、今後の意向【単一回答】

「いずれ市外へ転居したい、またはその予定がある」の割合は前回より若干減少し、「できるだけ今の住まいに長く住み続けたい」と「建替えやリフォームができれば長く住み続けたい」「市内の他の場所に移り、住み続けたい」を合わせた、芦屋市に住み続けたい層が6割を超え（62.7%）、前回調査より合計 7.1 ポイント増加しています。

| 項目 | R6 [今回] | | H29 [前回] | | 前回との差 (ポイント) |
|--------------------------|---------|-------|----------|-------|-----------------|
| | 件数 | % | 件数 | % | |
| 1 いずれ市外へ転居したい、またはその予定がある | 123 | 8.7 | 139 | 9.4 | -0.7 |
| 2 できるだけ今の住まいに長く住み続けたい | 637 | 45.2 | 617 | 41.5 | 3.7 |
| 3 建替えやリフォームができれば長く住み続けたい | 129 | 9.1 | 121 | 8.1 | 1.0 |
| 4 市内の他の場所に移り、住み続けたい | 118 | 8.4 | 89 | 6.0 | 2.4 |
| 5 今のところ、わからない | 210 | 14.9 | 230 | 15.5 | -0.6 |
| 6 無回答 | 193 | 13.7 | 290 | 19.5 | -5.8 |
| 全体 | 1,410 | 100.0 | 1,486 | 100.0 | |

問 18 付問 1：市外へ転居する理由【単一回答】

市外への転居理由では、「家族の増加・減少」の割合がやや増加し、「住宅費の負担増」がやや減少しています。

| 項目 | R6 [今回] | | H29 [前回] | | 前回との差 (ポイント) |
|---------------|---------|-------|----------|-------|-----------------|
| | 件数 | % | 件数 | % | |
| 1 転勤・就職・転職・就学 | 39 | 31.7 | 42 | 30.2 | 1.5 |
| 2 結婚 | 8 | 6.5 | 8 | 5.8 | 0.7 |
| 3 家族の増加・減少 | 12 | 9.8 | 8 | 5.8 | 4.0 |
| 4 親や子ども等と別居 | 5 | 4.1 | 5 | 3.6 | 0.5 |
| 5 持家を取得 | 11 | 8.9 | 15 | 10.8 | -1.9 |
| 6 住宅費の負担増 | 10 | 8.1 | 17 | 12.2 | -4.1 |
| 7 建物の老朽化 | 9 | 7.3 | 11 | 7.9 | -0.6 |
| 8 その他 | 29 | 23.6 | 21 | 15.1 | 8.5 |
| 全体 | 123 | 100.0 | 139 | 100.0 | |

問 18 付問 3：市外へ転居する場所【単一回答】

市外への転居場所では、「西宮市・尼崎市・伊丹市・宝塚市・川西市内」がやや減少し、「その他の兵庫県内」がやや増加しています。

| 項目 | R6 [今回] | | H29 [前回] | | 前回との差 (ポイント) |
|------------------------|---------|-------|----------|-------|-----------------|
| | 件数 | % | 件数 | % | |
| 1 神戸市内 | 14 | 11.4 | 16 | 11.5 | -0.1 |
| 2 西宮市・尼崎市・伊丹市・宝塚市・川西市内 | 16 | 13.0 | 21 | 15.1 | -2.1 |
| 3 その他の兵庫県内 | 9 | 7.3 | 7 | 5.1 | 2.2 |
| 4 大阪府内 | 10 | 8.1 | 10 | 7.2 | 0.9 |
| 5 決まっていない | 46 | 37.4 | 42 | 30.2 | 7.2 |
| 6 その他 | 28 | 22.8 | 31 | 22.3 | 0.5 |
| 7 無回答 | 0 | 0.0 | 12 | 8.6 | -8.6 |
| 全体 | 123 | 100.0 | 139 | 100.0 | |

問 19：芦屋市の良さ【複数回答】

芦屋市の良さについて、前回調査と比較可能な項目について、回答割合が高かった上位 10 項目を抜粋して比較してみると、「海、山、川がある豊かな自然環境」がやや増加しているほかは、いずれの項目も回答率は減少しています。特に減少しているのは「緑豊かな美しい景観のまちなみ」、「まちのイメージ」、「交通の利便性」などで、前回調査より 16～20 ポイント減少しています。

| 項目 (上位10項目を抜粋) | R6 [今回] | | H29 [前回] | | 前回との差 (ポイント) |
|---------------------|---------|-------|----------|-------|-----------------|
| | 件数 | % | 件数 | % | |
| 1 まちのイメージ | 392 | 27.8 | 657 | 44.2 | -16.4 |
| 2 海、山、川がある豊かな自然環境 | 526 | 37.3 | 458 | 30.8 | 6.5 |
| 3 緑豊かな美しい景観のまちなみ | 388 | 27.5 | 703 | 47.3 | -19.8 |
| 4 通勤・通学の利便性 | 172 | 12.2 | 344 | 23.1 | -10.9 |
| 5 交通の利便性 | 404 | 28.7 | 668 | 45.0 | -16.3 |
| 6 住宅の質や住宅環境 | 120 | 8.5 | 276 | 18.6 | -10.1 |
| 7 ゴミ・下水などの衛生環境が良く清潔 | 165 | 11.7 | 310 | 20.9 | -9.2 |
| 8 買い物や医療など日常生活の利便性 | 207 | 14.7 | 313 | 21.1 | -6.4 |
| 14 近隣の騒音・悪臭などの少なさ | 129 | 9.1 | 222 | 14.9 | -5.8 |
| 16 充実した災害対策と治安の良さ | 48 | 3.4 | 108 | 7.3 | -3.9 |
| 全体 | 1,410 | 100.0 | 1,486 | 100.0 | |

問 20：芦屋市で不足している部分【複数回答】

芦屋市で不足している部分についても問 19 と同様に全体的に回答率はやや低下しており、前回より回答率が増加した項目は見られませんでした。そのなかで、低下率が大きかったのは「物価の安さ」で前回から 18.4 ポイントの低下となっています。

| 項目 (上位10項目を抜粋) | R6 [今回] | | H29 [前回] | | 前回との差 (ポイント) |
|----------------------|---------|-------|----------|-------|-----------------|
| | 件数 | % | 件数 | % | |
| 5 交通の利便性 | 120 | 8.5 | 174 | 11.7 | -3.2 |
| 8 買い物や医療など日常生活の利便性 | 197 | 14.0 | 319 | 21.5 | -7.5 |
| 9 学校などの教育環境の良さ | 86 | 6.1 | 161 | 10.8 | -4.7 |
| 10 地域交流やコミュニティの良さ | 102 | 7.2 | 170 | 11.4 | -4.2 |
| 11 充実した福祉施設や福祉サービス | 154 | 10.9 | 260 | 17.5 | -6.6 |
| 12 充実した文化・スポーツ施設 | 137 | 9.7 | 261 | 17.6 | -7.9 |
| 13 充実した集会所などコミュニティ施設 | 52 | 3.7 | 104 | 7.0 | -3.3 |
| 15 物価の安さ | 498 | 35.3 | 798 | 53.7 | -18.4 |
| 16 充実した災害対策と治安の良さ | 77 | 5.5 | 141 | 9.5 | -4.0 |
| 19 子ども達が遊べる公園 | 72 | 5.1 | 170 | 11.4 | -6.3 |
| 全 体 | 1,410 | 100.0 | 1,486 | 100.0 | |

問 22：住まいの安全・安心を確保するために、最も重要なこと【単一回答】

「リフォーム等にあわせて筋かいや金具を設置するなど、耐震化の推進」が6ポイント、「老朽住宅の建替えを促進し、不燃化・耐震化・バリアフリー化を推進」が3ポイント増加しています。それに対して「いざという時にみんなで助け合える地域コミュニティの育成」の割合は、前回調査から-9.7ポイントと大幅に減少しています。

| 項目 | R6 [今回] | | H29 [前回] | | 前回との差 (ポイント) |
|--|---------|-------|----------|-------|-----------------|
| | 件数 | % | 件数 | % | |
| 1 リフォーム等にあわせて筋かいや金具を設置するなど、耐震化の推進 | 281 | 19.9 | 208 | 14.0 | 5.9 |
| 2 リフォーム等にあわせて段差解消や手すりを設置するなど、バリアフリー化の推進 | 184 | 13.0 | 171 | 11.5 | 1.5 |
| 3 リフォーム等にあわせて消火器の設置や火災警報器を設置するなど、防火対策の推進 | 62 | 4.4 | 73 | 4.9 | -0.5 |
| 4 老朽住宅の建替えを促進し、不燃化・耐震化・バリアフリー化を推進 | 461 | 32.7 | 441 | 29.7 | 3.0 |
| 5 いざという時にみんなで助け合える地域コミュニティの育成 | 309 | 21.9 | 469 | 31.6 | -9.7 |
| 6 その他 | 19 | 1.3 | 32 | 2.1 | -0.8 |
| 7 無回答 | 94 | 6.7 | 92 | 6.2 | 0.5 |
| 全体 | 1,410 | 100.0 | 1,486 | 100.0 | |

問 23：高齢者の暮らし方に対応した住まいづくりとして最も重要なこと【単一回答】

「リフォーム等にあわせて段差解消や手すりを設置するなど、バリアフリー化の推進」の割合が上昇しており、「生活支援サービスの充実など高齢者を地域で支える仕組みづくり」は減少しています。

| 項目 | R6 [今回] | | H29 [前回] | | 前回との差 (ポイント) |
|---|---------|-------|----------|-------|-----------------|
| | 件数 | % | 件数 | % | |
| 1 リフォーム等にあわせて段差解消や手すりを設置するなど、バリアフリー化の推進 | 209 | 14.8 | 125 | 8.4 | 6.4 |
| 2 良質なサービス付き高齢者住宅や有料老人ホームの供給の誘導 | 206 | 14.6 | 224 | 15.1 | -0.5 |
| 3 住替えを容易にする情報提供や相談体制の整備 | 104 | 7.4 | 110 | 7.4 | -0.0 |
| 4 生活支援サービスの充実など高齢者を地域で支える仕組みづくり | 418 | 29.6 | 511 | 34.4 | -4.8 |
| 5 医療・介護サービス施設など在宅サービスの充実 | 352 | 25.0 | 413 | 27.8 | -2.8 |
| 6 その他 | 31 | 2.2 | 18 | 1.2 | 1.0 |
| 7 無回答 | 90 | 6.4 | 85 | 5.7 | 0.7 |
| 全体 | 1,410 | 100.0 | 1,486 | 100.0 | |

問 24：子育てをするうえで住宅や環境について重要なこと【複数回答】

「子どもの遊び場・公園など」や「子ども連れで買い物や外食のしやすさ」の割合が上昇しており、「子育て世代のコミュニティ、仲間づくりの充実」は減少しています。

| 項目 | R6 [今回] | | H29 [前回] | | 前回との差 (ポイント) |
|--------------------------|---------|-------|----------|-------|-----------------|
| | 件数 | % | 件数 | % | |
| 1 住宅の広さ・間取り | 109 | 7.7 | 104 | 7.0 | 0.7 |
| 2 安全性や遮音性など住宅の居住性能 | 112 | 7.9 | 97 | 6.5 | 1.4 |
| 3 子どもの遊び場・公園など | 294 | 20.9 | 249 | 16.8 | 4.1 |
| 4 子ども連れで買い物や外食のしやすさ | 91 | 6.5 | 49 | 3.3 | 3.2 |
| 5 道路通行時の安全性 | 286 | 20.3 | 316 | 21.3 | -1.0 |
| 6 子どもの安全を守る防犯体制の充実 | 404 | 28.7 | 443 | 29.8 | -1.1 |
| 7 産婦人科・小児科などの医療機関の利便性 | 173 | 12.3 | 166 | 11.2 | 1.1 |
| 8 学校などの教育環境・教育内容 | 372 | 26.4 | 390 | 26.2 | 0.2 |
| 9 仕事と子育てが両立できる環境 | 457 | 32.4 | 506 | 34.1 | -1.7 |
| 10 子育て世代のコミュニティ、仲間づくりの充実 | 95 | 6.7 | 159 | 10.7 | -4.0 |
| 11 その他 | 24 | 1.7 | 22 | 1.5 | 0.2 |
| 全体 | 1,410 | 100.0 | 1,486 | 100.0 | |

問 26：市内でのマンション建設について【複数回答】

回答は前回調査と同じような傾向ですが、最も回答数が多い「ニーズがあるなら止むを得ないが、景観・緑地の確保などに配慮すべき」の割合は前回調査から 2.6 ポイント上昇しています。これに対して「自治会への加入など、入居者が地域のコミュニティと融和できるような取組みが重要」の割合は前回よりも 5.6 ポイント減少しています。

| 項目 | R6 [今回] | | H29 [前回] | | 前回との差 (ポイント) |
|--|---------|------|----------|------|-----------------|
| | 件数 | % | 件数 | % | |
| 1 今後、人口減少が見込まれる中で、人口が増えて良いことだと思う | 356 | 25.2 | 384 | 25.8 | -0.6 |
| 2 ニーズがあるなら止むを得ないが、景観・緑地の確保などに配慮すべき | 773 | 54.8 | 775 | 52.2 | 2.6 |
| 3 自治会への加入など、入居者が地域のコミュニティと融和できるような取組みが重要 | 358 | 25.4 | 461 | 31.0 | -5.6 |
| 4 マンションが増えるのは、本市のイメージに合わないと思う | 211 | 15.0 | 206 | 13.9 | 1.1 |
| 5 わからない | 123 | 8.7 | 125 | 8.4 | 0.3 |
| 6 その他 | 42 | 3.0 | 51 | 3.4 | -0.4 |
| 全体 | 1410 | 100 | 1,486 | 100 | |

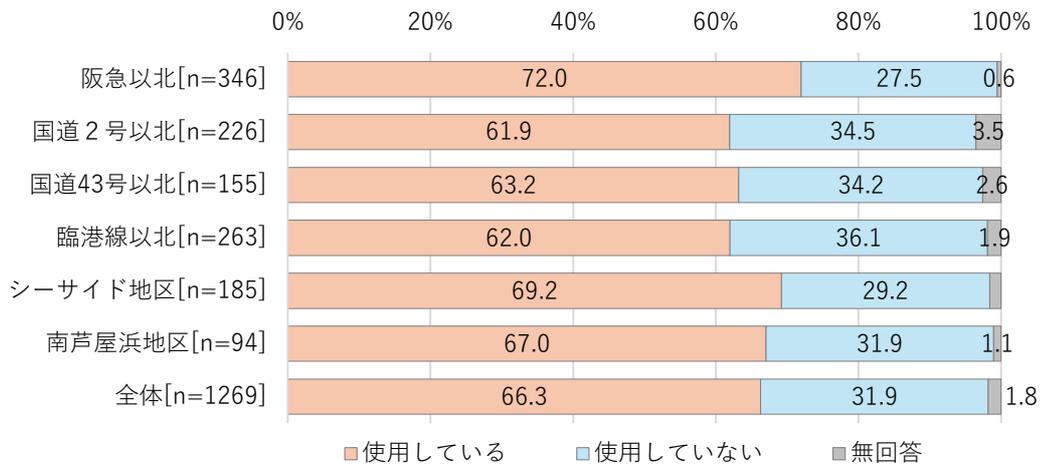
IV. その他（クロス集計）

問 12：自動車の使用【単数回答】

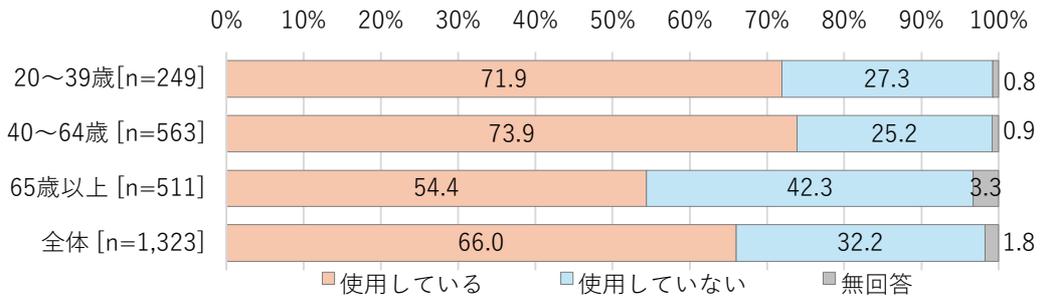
地域別には「阪急以北」地域、「シーサイド地区」、「南芦屋浜地区」などで、車の使用率が高くなっています。

年齢区分別には「65歳以上」の高齢層の使用率が6割を切っており、他の年齢層に対して低くなっています。

【地域別】



【年齢区分別】



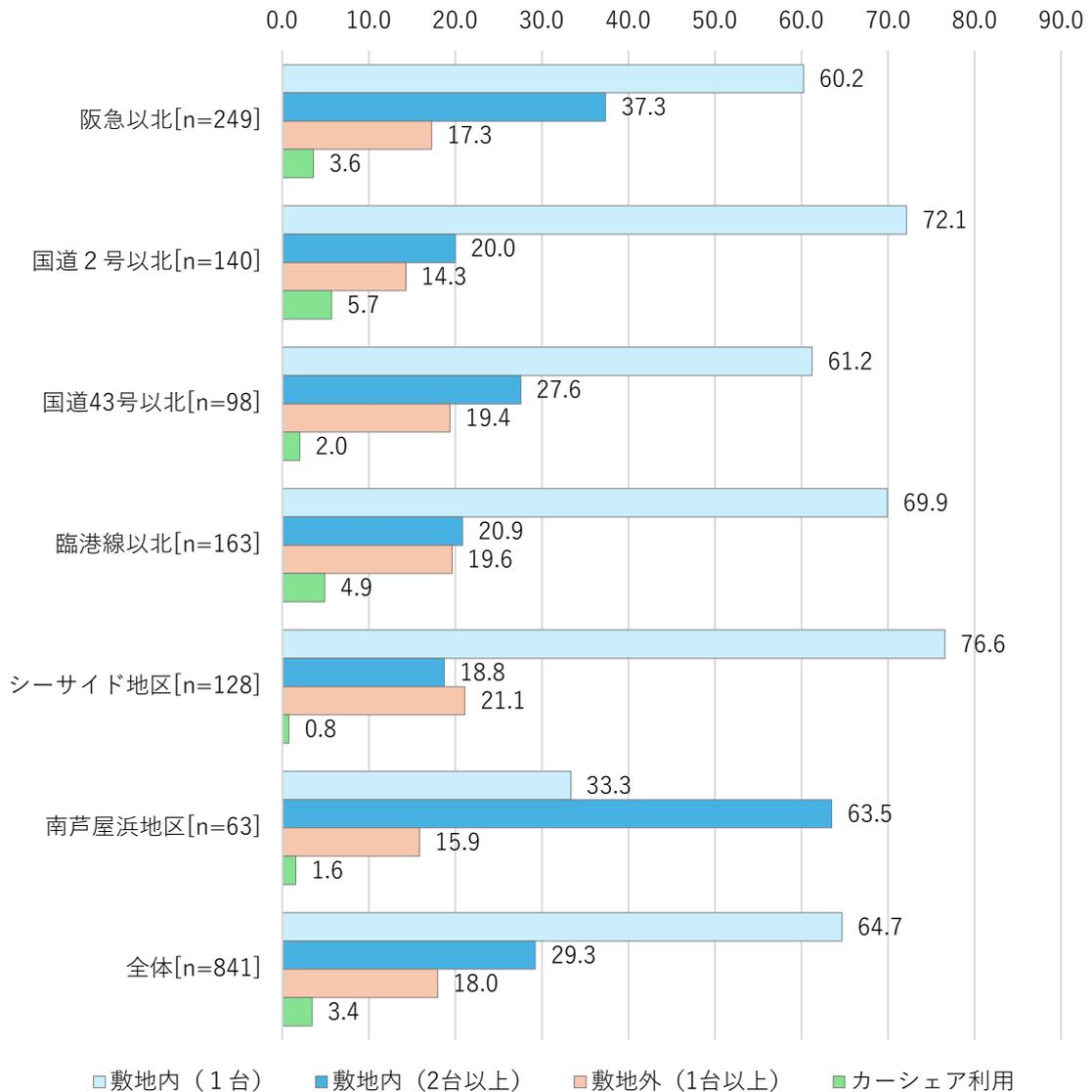
問 12-付問 1～3：駐車場使用状況【各付問単数回答】

問 12 で車を使用しているを方の駐車場の使用状況及びカーシェアの利用状況を問う付問 1～3 について、それぞれの使用・利用率は下図の通りとなっています。

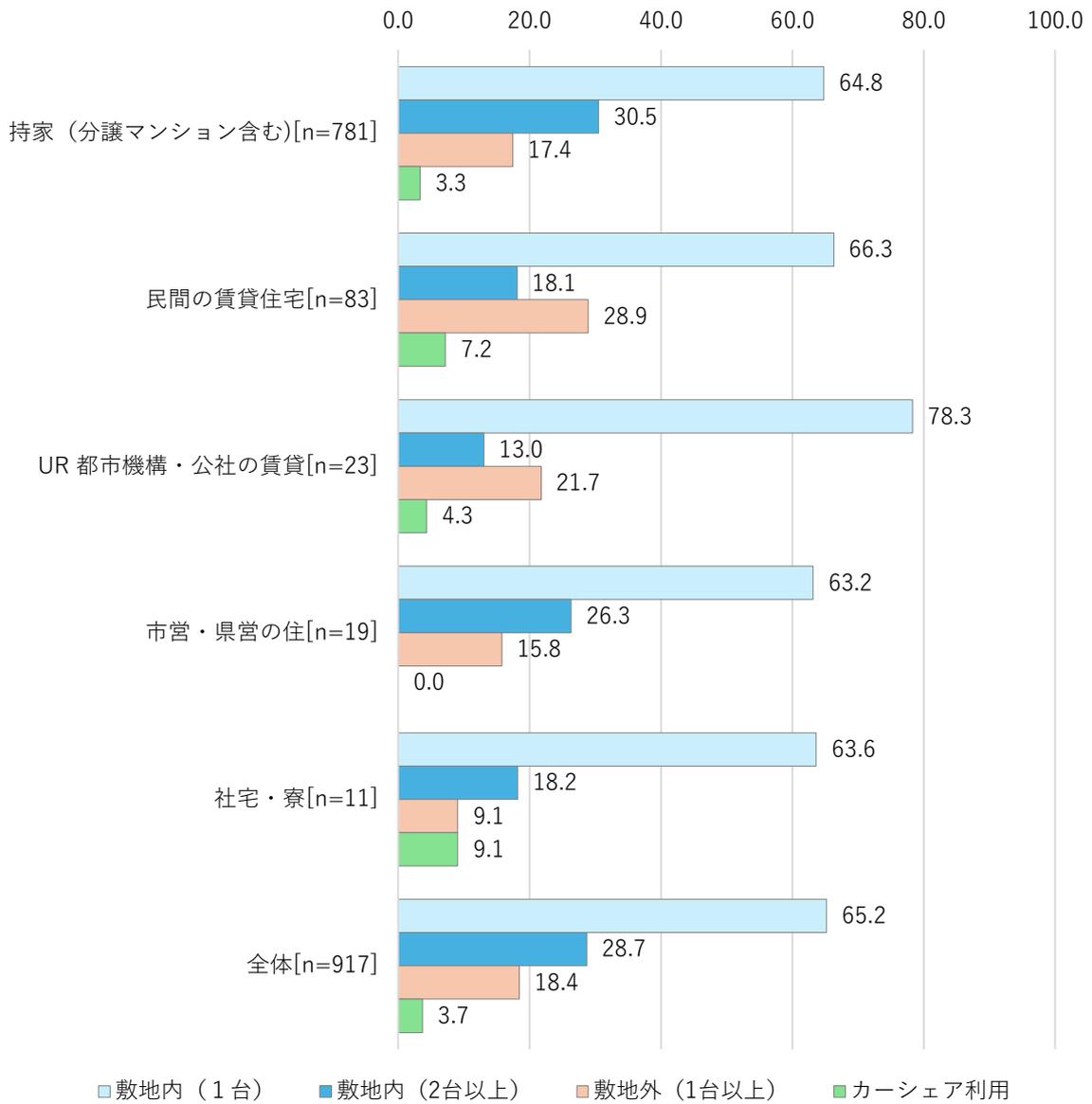
地域別には「南芦屋浜地区」で「敷地内駐車場 2 台以上使用」の割合が 6 割を超え非常に高くなっています。

住まいの所有関係別には「民間の賃貸住宅」や「UR・公社の賃貸住宅」で「敷地外駐車場」の利用率が 2 割を超えやや高くなっています。

【地域別】



【住まいの所有関係別】

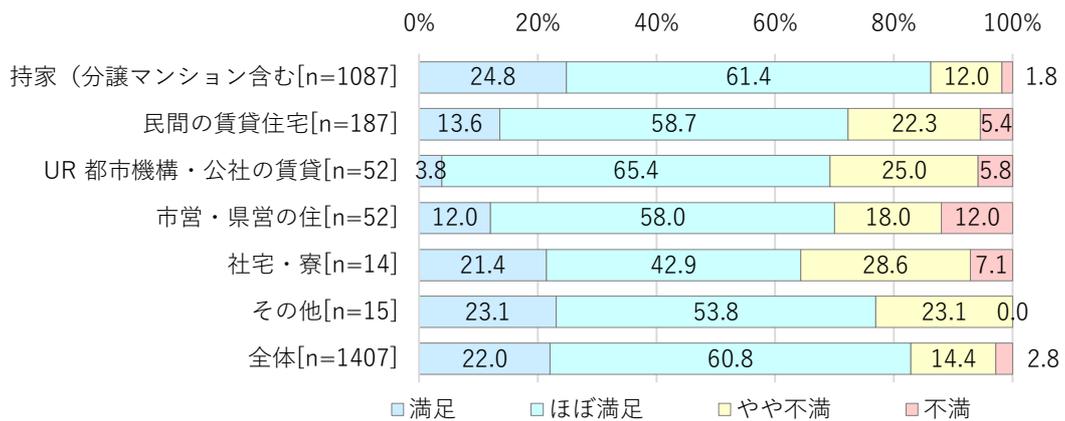


問 15：住まいの満足度【各項目単一回答】

⑮住宅としての総合的な評価

住宅としての総合的な評価は、所有関係別には、「持家（分譲マンション含む）」の満足率が 86% を超え高くなっています。一方、賃貸住宅（民間、UR・公社、市営・県営住宅）での満足率は 70% 前後となっています。特に「市営・県営住宅」では「不満」が 12.0% で他に比べて高い傾向にあります。

【住まいの所有関係別】



問 16：周辺環境の満足度【各項目単一回答】

⑭ごみやたばこ等の市民マナー

ごみやたばこ等の市民マナーについて、年齢別には、「20～39 歳」の若い層での満足率が約 8 割と他の層（7 割前後）に比べ高くなっています。

【年齢区分別】



⑱地域のコミュニティ活動

地域のコミュニティ活動については、「阪急以北」の満足度が8割と最も高くなっています。また「南芦屋浜地区」や「国道43号以北」地区での満足度がやや低くなっています。

【地域別】



⑫周辺環境の総合的な評価

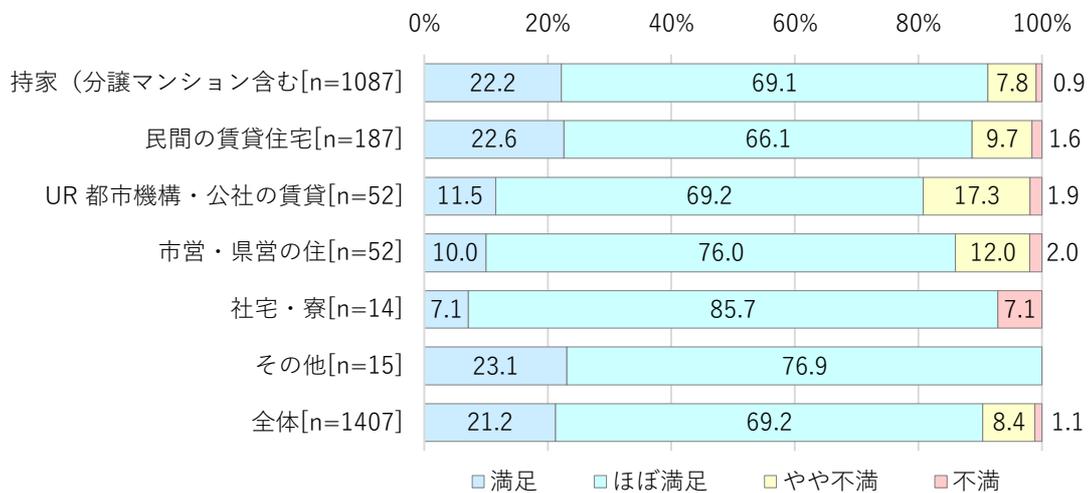
周辺環境の総合的な評価は地域別では、いずれも満足度は8割を超え高いですが、「国道2号以北」が最も高く、「南芦屋浜地区」がやや低くなっています。

また所有関係別には、「持家（分譲マンション含む）」及び「民間の賃貸住宅」の満足率が9割前後と高いのに対して、「UR・公社」の満足率が8割強とやや低くなっています。

【地域別】



【住まいの所有関係別】



問 17：住宅施策に対する満足度【各項目単一回答】

⑨若者や子育て世帯が安心して暮らせる住まいづくりの促進

若者や子育て世帯が安心して暮らせる住まいづくりの促進について、年齢区分別では、「65歳以上」の満足度が約7割と高くなっています。

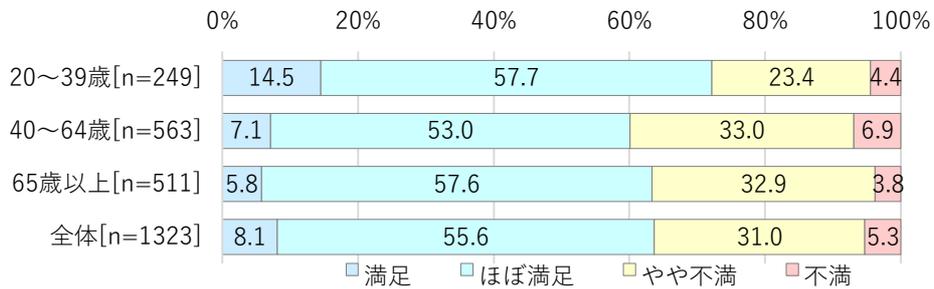
【年齢区分別】



⑫保健・介護・医療・福祉と連携した住まいづくりの促進

保健・介護・医療・福祉と連携した住まいづくりの促進について、年齢区分別では、「20～39歳」の満足度が約7割を超え、高くなっています。

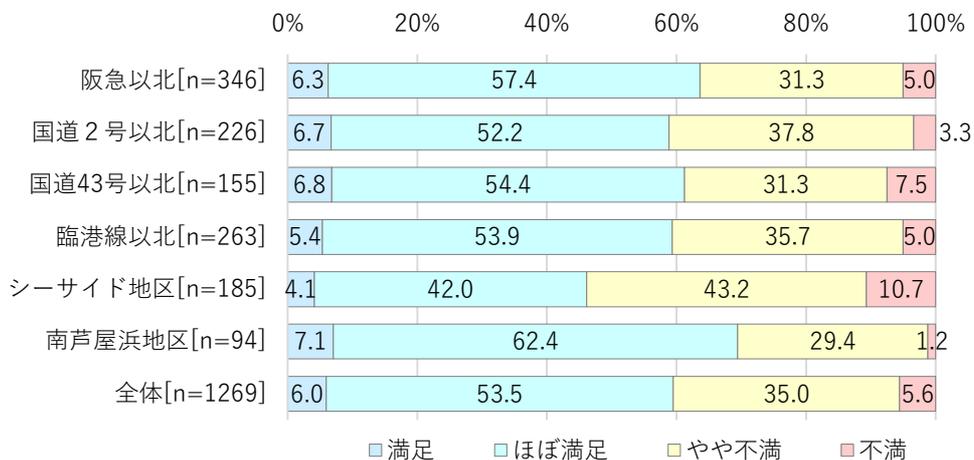
【年齢区分別】



⑮既存マンションの適切な維持管理の支援

既存マンションの適切な維持管理の支援について、「南芦屋浜地区」での満足度が約7割と高いのに対して、「シーサイド地区」は5割を下回り低くなっています。

【地域別】



問 18：住まいに関する、今後の意向【単一回答】

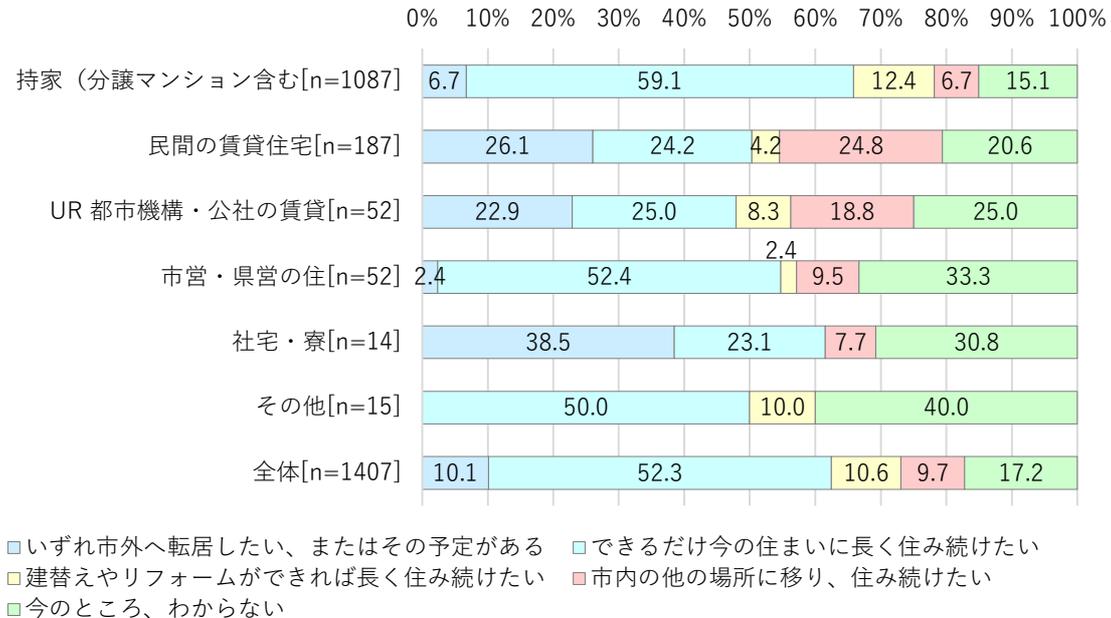
年齢別では、「20～39 歳」で「いずれ市外へ転居したい、またはその予定がある」の割合が他の年代よりも高く、「65 歳以上」では「できるだけ今の住まいに長く住み続けたい」が他の年代よりも高くなっています。

住まいの所有関係別には、「社宅・寮」層の市外転居意向が約 4 割と最も高くなっています。また賃貸住宅層（「民間の賃貸住宅」及び「UR・公社の賃貸住宅」）の市外転居意向も 2 割を超えており、持家層と比較して高くなっています。

【年齢区分別】



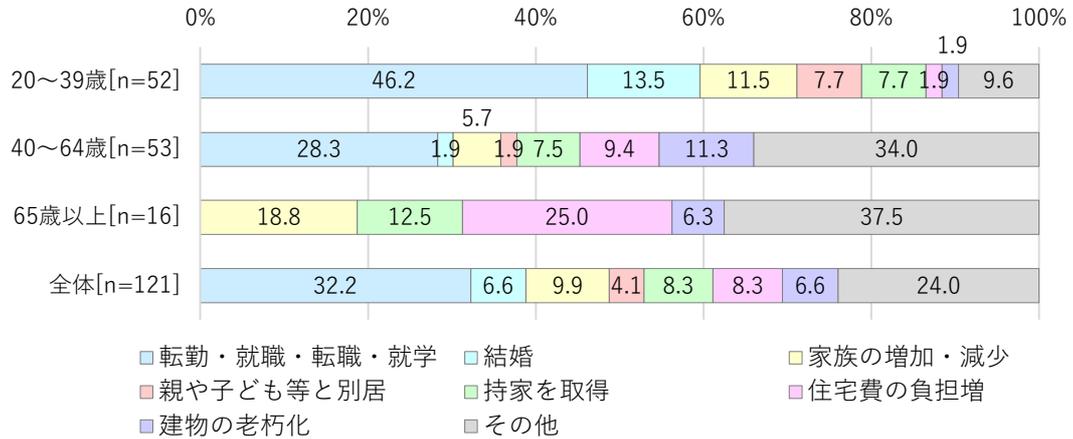
【住まいの所有関係別】



問 18 付問 1：市外へ転居する理由【単一回答】

年齢別では、「20～39 歳」で「転勤・就職・転職・就学」、「65 歳以上」では「住宅費の負担増」が他の年代よりも高くなっています。

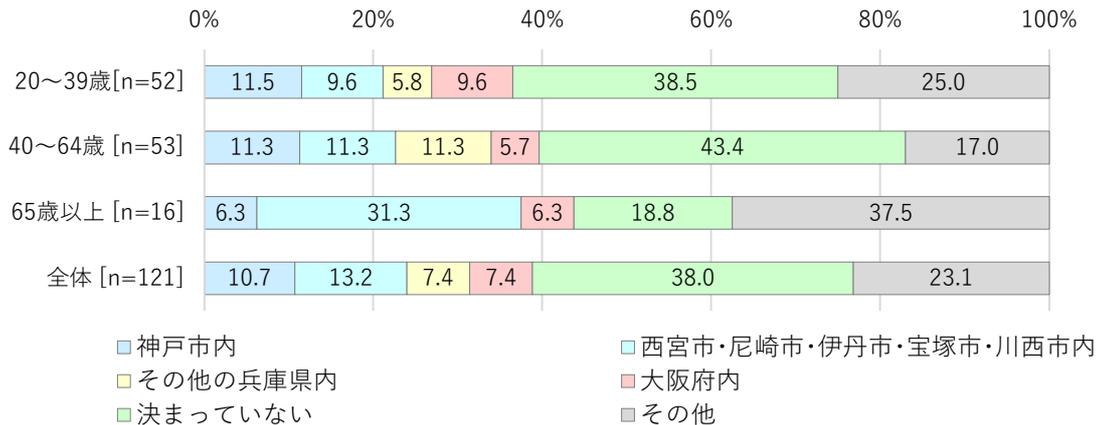
【年齢区分別】



問 18 付問 3：市外への転居先【単一回答】

年齢別では、「20～39 歳」で「大阪府内」が、「40～64 歳」で「その他兵庫県内」が、「65 歳以上」では「西宮市・尼崎市・伊丹市・宝塚市・川西市内」が他の年代よりも高くなっています。

【年齢区分別】



問 19：本市の良さ【複数回答】

「まちのイメージ」はどの年代でも同じくらいの割合ですが、「海、山、川がある豊かな自然環境」、「緑豊かな美しい景観のまちなみ」、「交通の利便性」については、年代が上がるほど割合が大きくなっています。

【年齢区分別】

| 項目 | 20～39歳 | | 40～64歳 | | 65歳以上 | | 全 体 | |
|----------------------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 |
| 1 まちのイメージ | 62 | 24.9 | 162 | 28.8 | 144 | 28.2 | 368 | 27.8 |
| 2 海、山、川がある豊かな自然環境 | 49 | 19.7 | 189 | 33.6 | 267 | 52.3 | 505 | 38.2 |
| 3 緑豊かな美しい景観のまちなみ | 42 | 16.9 | 136 | 24.2 | 184 | 36.0 | 362 | 27.4 |
| 4 通勤・通学の利便性 | 31 | 12.4 | 82 | 14.6 | 52 | 10.2 | 165 | 12.5 |
| 5 交通の利便性 | 48 | 19.3 | 128 | 22.7 | 216 | 42.3 | 392 | 29.6 |
| 6 住宅の質や住宅環境 | 15 | 6.0 | 50 | 8.9 | 48 | 9.4 | 113 | 8.5 |
| 7 ゴミ・下水などの衛生環境が良く清潔 | 16 | 6.4 | 37 | 6.6 | 104 | 20.4 | 157 | 11.9 |
| 8 買い物や医療など日常生活の利便性 | 16 | 6.4 | 57 | 10.1 | 129 | 25.2 | 202 | 15.3 |
| 9 学校などの教育環境の良さ | 9 | 3.6 | 20 | 3.6 | 9 | 1.8 | 38 | 2.9 |
| 10 地域交流やコミュニティの良さ | 1 | 0.4 | 6 | 1.1 | 12 | 2.3 | 19 | 1.4 |
| 11 充実した福祉施設や福祉サービス | 1 | 0.4 | 4 | 0.7 | 13 | 2.5 | 18 | 1.4 |
| 12 充実した文化・スポーツ施設 | 1 | 0.4 | 6 | 1.1 | 10 | 2.0 | 17 | 1.3 |
| 13 充実した集会所などコミュニティ施設 | 0 | 0.0 | 1 | 0.2 | 13 | 2.5 | 14 | 1.1 |
| 14 近隣の騒音・悪臭などの少なさ | 11 | 4.4 | 44 | 7.8 | 65 | 12.7 | 120 | 9.1 |
| 15 物価の安さ | 3 | 1.2 | 1 | 0.2 | 1 | 0.2 | 5 | 0.4 |
| 16 充実した災害対策と治安の良さ | 8 | 3.2 | 22 | 3.9 | 17 | 3.3 | 47 | 3.6 |
| 17 低廉な家賃の民間賃貸住宅 | 0 | 0.0 | 1 | 0.2 | 1 | 0.2 | 2 | 0.2 |
| 18 不動産としての価値の高さ | 12 | 4.8 | 48 | 8.5 | 43 | 8.4 | 103 | 7.8 |
| 19 子ども達が遊べる公園 | 10 | 4.0 | 13 | 2.3 | 16 | 3.1 | 39 | 2.9 |
| 20 その他 | 3 | 1.2 | 5 | 0.9 | 3 | 0.6 | 11 | 0.8 |
| 全 体 | 249 | 100.0 | 563 | 100.0 | 511 | 100.0 | 1,323 | 100.0 |

※割合 25%～50%未満の背景を薄赤、50%以上の背景を濃い赤で表示

問 20：本市で不足している部分【複数回答】

「物価の安さ」はどの年代でも最も割合の高い項目となっていますが、年齢が高い層ほど回答の割合は高くなっています。

【年齢区別別】

| 項目 | 20～39歳 | | 40～64歳 | | 65歳以上 | | 全 体 | |
|----------------------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 |
| 1 まちのイメージ | 3 | 1.2 | 5 | 0.9 | 11 | 2.2 | 19 | 1.4 |
| 2 海、山、川がある豊かな自然環境 | 2 | 0.8 | 5 | 0.9 | 4 | 0.8 | 11 | 0.8 |
| 3 緑豊かな美しい景観のまちなみ | 3 | 1.2 | 14 | 2.5 | 14 | 2.7 | 31 | 2.3 |
| 4 通勤・通学の利便性 | 8 | 3.2 | 22 | 3.9 | 13 | 2.5 | 43 | 3.3 |
| 5 交通の利便性 | 13 | 5.2 | 42 | 7.5 | 54 | 10.6 | 109 | 8.2 |
| 6 住宅の質や住宅環境 | 5 | 2.0 | 11 | 2.0 | 14 | 2.7 | 30 | 2.3 |
| 7 ゴミ・下水などの衛生環境が良く清潔 | 10 | 4.0 | 20 | 3.6 | 15 | 2.9 | 45 | 3.4 |
| 8 買い物や医療など日常生活の利便性 | 29 | 11.6 | 78 | 13.9 | 80 | 15.7 | 187 | 14.1 |
| 9 学校などの教育環境の良さ | 11 | 4.4 | 37 | 6.6 | 37 | 7.2 | 85 | 6.4 |
| 10 地域交流やコミュニティの良さ | 10 | 4.0 | 36 | 6.4 | 53 | 10.4 | 99 | 7.5 |
| 11 充実した福祉施設や福祉サービス | 10 | 4.0 | 58 | 10.3 | 80 | 15.7 | 148 | 11.2 |
| 12 充実した文化・スポーツ施設 | 18 | 7.2 | 51 | 9.1 | 62 | 12.1 | 131 | 9.9 |
| 13 充実した集会所などコミュニティ施設 | 1 | 0.4 | 24 | 4.3 | 26 | 5.1 | 51 | 3.9 |
| 14 近隣の騒音・悪臭などの少なさ | 3 | 1.2 | 15 | 2.7 | 20 | 3.9 | 38 | 2.9 |
| 15 物価の安さ | 78 | 31.3 | 197 | 35.0 | 204 | 39.9 | 479 | 36.2 |
| 16 充実した災害対策と治安の良さ | 6 | 2.4 | 33 | 5.9 | 33 | 6.5 | 72 | 5.4 |
| 17 低廉な家賃の民間賃貸住宅 | 14 | 5.6 | 32 | 5.7 | 40 | 7.8 | 86 | 6.5 |
| 18 不動産としての価値の高さ | 6 | 2.4 | 10 | 1.8 | 19 | 3.7 | 35 | 2.6 |
| 19 子ども達が遊べる公園 | 17 | 6.8 | 29 | 5.2 | 23 | 4.5 | 69 | 5.2 |
| 20 その他 | 15 | 6.0 | 44 | 7.8 | 37 | 7.2 | 96 | 7.3 |
| 全 体 | 249 | 100.0 | 563 | 100.0 | 511 | 100.0 | 1,323 | 100.0 |

※割合 25%～50%未満の背景を薄赤、50%以上の背景を濃い赤で表示

問 21：「緑豊かな美しい景観のまちなみ」をつくる上で大切だと思うもの【複数回答】

「20～39 歳」では「歩道の歩きやすさ」や「道路の清潔さ」が、「40～64 歳」では「街路樹の量や質」が、「65 歳以上」では「無電柱化」や「昔ながらの美しい風景（風致）の維持」がそれぞれ他の層に対して高くなっています。

【年齢区分別】

| 項目 | 20～39歳 | | 40～64歳 | | 65歳以上 | | 全 体 | |
|------------------------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 |
| 1 宅地内の緑の量や質 | 38 | 15.3 | 56 | 9.9 | 65 | 12.7 | 159 | 12.0 |
| 2 街路樹の量や質 | 91 | 36.5 | 244 | 43.3 | 134 | 26.2 | 469 | 35.4 |
| 3 公園樹の量や質 | 61 | 24.5 | 110 | 19.5 | 56 | 11.0 | 227 | 17.2 |
| 4 建物の統一感 | 29 | 11.6 | 66 | 11.7 | 65 | 12.7 | 160 | 12.1 |
| 5 まちなみと調和した屋外広告物 | 31 | 12.4 | 110 | 19.5 | 74 | 14.5 | 215 | 16.3 |
| 6 昔ながらの美しい風景（風致）の維持 | 50 | 20.1 | 160 | 28.4 | 158 | 30.9 | 368 | 27.8 |
| 7 歩道の歩きやすさ | 107 | 43.0 | 213 | 37.8 | 192 | 37.6 | 512 | 38.7 |
| 8 無電柱化 | 69 | 27.7 | 189 | 33.6 | 190 | 37.2 | 448 | 33.9 |
| 9 公共施設（公園、集会所等）への訪れやすさ | 19 | 7.6 | 39 | 6.9 | 50 | 9.8 | 108 | 8.2 |
| 10 道路の清潔さ | 86 | 34.5 | 163 | 29.0 | 102 | 20.0 | 351 | 26.5 |
| 11 地域のコミュニティの良さ | 8 | 3.2 | 31 | 5.5 | 23 | 4.5 | 62 | 4.7 |
| 12 地域独自のまちづくりへの支援体制 | 9 | 3.6 | 25 | 4.4 | 56 | 11.0 | 90 | 6.8 |
| 13 空き家、空き地対策 | 52 | 20.9 | 121 | 21.5 | 84 | 16.4 | 257 | 19.4 |
| 14 その他 | 6 | 2.4 | 17 | 3.0 | 13 | 2.5 | 36 | 2.7 |
| 全 体 | 249 | 100.0 | 563 | 100.0 | 511 | 100.0 | 1,323 | 100.0 |

※割合 25%～50%未満の背景を薄赤、50%以上の背景を濃い赤で表示

問 23：高齢者の暮らし方に対応した住まいづくりとして最も重要なこと【単数回答】

「生活支援サービスの充実など高齢者を地域で支える仕組みづくり」については、「40～64歳」と「65歳以上」、「医療・介護サービス施設など在宅サービスの充実」については「65歳以上」の高年齢層で高くなっています。

【年齢区分別】

| 項目 | 20～39歳 | | 40～64歳 | | 65歳以上 | | 全 体 | |
|---|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 |
| 1 リフォーム等にあわせて段差解消や手すりを設置するなど、バリアフリー化の推進 | 62 | 24.9 | 88 | 15.6 | 54 | 10.6 | 204 | 15.4 |
| 2 良質なサービス付き高齢者住宅や有料老人ホームの供給の誘導 | 51 | 20.5 | 76 | 13.5 | 73 | 14.3 | 200 | 15.1 |
| 3 住替えを容易にする情報提供や相談体制の整備 | 17 | 6.8 | 50 | 8.9 | 35 | 6.8 | 102 | 7.7 |
| 4 生活支援サービスの充実など高齢者を地域で支える仕組みづくり | 62 | 24.9 | 191 | 33.9 | 148 | 29.0 | 401 | 30.3 |
| 5 医療・介護サービス施設など在宅サービスの充実 | 52 | 20.9 | 136 | 24.2 | 149 | 29.2 | 337 | 25.5 |
| 6 その他 | 4 | 1.6 | 13 | 2.3 | 13 | 2.5 | 30 | 2.3 |
| 7 無回答 | 1 | 0.4 | 9 | 1.6 | 39 | 7.6 | 49 | 3.7 |
| 合 計 | 249 | 100.0 | 563 | 100.0 | 511 | 100.0 | 1,323 | 100.0 |

※割合 25%～50%未満の背景を薄赤、50%以上の背景を濃い赤で表示

問 24：子育てをするうえで住宅や環境について重要なこと【複数回答】

「20～39歳」の若い層では「子どもの遊び場・公園など」が26.5%と他の層よりやや高くなっています。また「仕事と子育てが両立できる環境」については、どの年代でも共通して高い割合となっています。

【年齢区分別】

| 項目 | 20～39歳 | | 40～64歳 | | 65歳以上 | | 全 体 | |
|--------------------------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 |
| 1 住宅の広さ・間取り | 29 | 11.6 | 40 | 7.1 | 37 | 7.2 | 106 | 8.0 |
| 2 安全性や遮音性など住宅の居住性能 | 28 | 11.2 | 47 | 8.3 | 36 | 7.0 | 111 | 8.4 |
| 3 子どもの遊び場・公園など | 66 | 26.5 | 133 | 23.6 | 89 | 17.4 | 288 | 21.8 |
| 4 子ども連れで買い物や外食のしやすさ | 33 | 13.3 | 38 | 6.7 | 16 | 3.1 | 87 | 6.6 |
| 5 道路通行時の安全性 | 43 | 17.3 | 123 | 21.8 | 105 | 20.5 | 271 | 20.5 |
| 6 子どもの安全を守る防犯体制の充実 | 70 | 28.1 | 166 | 29.5 | 150 | 29.4 | 386 | 29.2 |
| 7 産婦人科・小児科などの医療機関の利便性 | 44 | 17.7 | 69 | 12.3 | 53 | 10.4 | 166 | 12.5 |
| 8 学校などの教育環境・教育内容 | 65 | 26.1 | 171 | 30.4 | 125 | 24.5 | 361 | 27.3 |
| 9 仕事と子育てが両立できる環境 | 79 | 31.7 | 180 | 32.0 | 177 | 34.6 | 436 | 33.0 |
| 10 子育て世代のコミュニティ、仲間づくりの充実 | 5 | 2.0 | 35 | 6.2 | 48 | 9.4 | 88 | 6.7 |
| 11 その他 | 10 | 4.0 | 11 | 2.0 | 3 | 0.6 | 24 | 1.8 |
| 全 体 | 249 | 100.0 | 563 | 100.0 | 511 | 100.0 | 1,323 | 100.0 |

※割合 25%～50%未満の背景を薄赤、50%以上の背景を濃い赤で表示

問 25：若者や子育て世帯向けの住宅施策を推進するために必要な取組【複数回答】

年齢区分別には「20～39歳」の若い層では「若者や子育て世帯向けの家賃補助」、「若者や子育て世帯が購入する際の住宅取得費の補助」がいずれも5割を超えており、「若者や子育て世帯が中古住宅に住む際の改修費の補助」も4割を超えるなど、家賃補助や住宅の取得時の補助金への回答率が高くなっています。

住まいの所有関係別には「民間の賃貸住宅」に住む層で「若者や子育て世帯向けの家賃補助」の割合が高く5割を超えています。

【年齢区分別】

| 項目 | 20～39歳 | | 40～64歳 | | 65歳以上 | | 全 体 | |
|--------------------------------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 |
| 1 若者や子育て世帯が購入する際の住宅取得費の補助 | 139 | 55.8 | 203 | 36.1 | 184 | 36.0 | 526 | 39.8 |
| 2 若者や子育て世帯が中古住宅に住む際の改修費の補助 | 108 | 43.4 | 186 | 33.0 | 128 | 25.0 | 422 | 31.9 |
| 3 若者や子育て世帯向けの家賃補助 | 149 | 59.8 | 239 | 42.5 | 177 | 34.6 | 565 | 42.7 |
| 4 若者や子育て世帯向けの住宅施策に関するさまざまな情報提供 | 85 | 34.1 | 174 | 30.9 | 181 | 35.4 | 440 | 33.3 |
| 5 若者や子育て世代への公営住宅等の入居優遇 | 65 | 26.1 | 158 | 28.1 | 174 | 34.1 | 397 | 30.0 |
| 6 わからない | 15 | 6.0 | 75 | 13.3 | 59 | 11.5 | 149 | 11.3 |
| 7 その他 | 5 | 2.0 | 24 | 4.3 | 9 | 1.8 | 38 | 2.9 |
| 全 体 | 249 | 100.0 | 563 | 100.0 | 511 | 100.0 | 1,323 | 100.0 |

【住まいの所有関係別】

| 項目 | 持家（分譲マンション含む） | | 民間の賃貸住宅 | | UR都市機構・公社の賃貸住宅 | | 市営・県営の住宅 | | 社宅・寮 | | その他 | | 全 体 | |
|--------------------------------|---------------|-------|---------|-------|----------------|-------|----------|-------|------|-------|-----|-------|-------|-------|
| | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 | 件 数 | 割合 |
| 1 若者や子育て世帯が購入する際の住宅取得費の補助 | 417 | 38.4 | 80 | 42.8 | 16 | 30.8 | 21 | 40.4 | 7 | 50.0 | 7 | 46.7 | 548 | 38.9 |
| 2 若者や子育て世帯が中古住宅に住む際の改修費の補助 | 337 | 31.0 | 64 | 34.2 | 14 | 26.9 | 12 | 23.1 | 8 | 57.1 | 6 | 40.0 | 441 | 31.3 |
| 3 若者や子育て世帯向けの家賃補助 | 432 | 39.7 | 103 | 55.1 | 23 | 44.2 | 19 | 36.5 | 6 | 42.9 | 6 | 40.0 | 589 | 41.9 |
| 4 若者や子育て世帯向けの住宅施策に関するさまざまな情報提供 | 365 | 33.6 | 46 | 24.6 | 15 | 28.8 | 17 | 32.7 | 6 | 42.9 | 4 | 26.7 | 453 | 32.2 |
| 5 若者や子育て世代への公営住宅等の入居優遇 | 318 | 29.3 | 50 | 26.7 | 18 | 34.6 | 22 | 42.3 | 2 | 14.3 | 3 | 20.0 | 413 | 29.4 |
| 6 わからない | 115 | 10.6 | 20 | 10.7 | 9 | 17.3 | 6 | 11.5 | 2 | 14.3 | 1 | 6.7 | 153 | 10.9 |
| 7 その他 | 33 | 3.0 | 4 | 2.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 6.7 | 38 | 2.7 |
| 全 体 | 1,087 | 100.0 | 187 | 100.0 | 52 | 100.0 | 52 | 100.0 | 14 | 100.0 | 15 | 100.0 | 1,407 | 100.0 |

※割合 25%～50%未満の背景を薄赤、50%以上の背景を濃い赤で表示

問 27：芦屋市のマンション施策として必要な取組【複数回答】

年齢別にみるといずれの年齢区分も「行政による維持管理状況の把握」、「行政による管理不全マンションに対する助言・指導等」、「旧耐震マンションの耐震化の更なる促進」が上位3項目となっています。また、住まいの形態別の「一戸建て」「共同建物（マンション・ハイツなど）」は、同じ傾向となっています。

【年齢区分別】

| | 20～39歳 | | 40～64歳 | | 65歳以上 | | 全体 | |
|---|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 件数 | 割合 | 件数 | 割合 | 件数 | 割合 | 件数 | 割合 |
| 1 行政による維持管理状況の把握 | 123 | 49.4 | 248 | 44.0 | 202 | 39.5 | 573 | 43.3 |
| 2 行政による管理不全マンションに対する助言・指導等 | 98 | 39.4 | 261 | 46.4 | 211 | 41.3 | 570 | 43.1 |
| 3 マンションの適正管理に関する様々な情報提供 | 60 | 24.1 | 150 | 26.6 | 165 | 32.3 | 375 | 28.3 |
| 4 マンションの適正管理についてのセミナー・出張講座・相談窓口による支援の継続 | 26 | 10.4 | 96 | 17.1 | 92 | 18.0 | 214 | 16.2 |
| 5 旧耐震マンションの耐震化の更なる促進 | 96 | 38.6 | 216 | 38.4 | 201 | 39.3 | 513 | 38.8 |
| 6 マンションの建替えを促進するような施策 | 81 | 32.5 | 144 | 25.6 | 88 | 17.2 | 313 | 23.7 |
| 7 既存マンションの付加価値を高めるような施策 | 62 | 24.9 | 161 | 28.6 | 135 | 26.4 | 358 | 27.1 |
| 8 わからない | 22 | 8.8 | 53 | 9.4 | 57 | 11.2 | 132 | 10.0 |
| 9 その他 | 2 | 0.8 | 13 | 2.3 | 5 | 1.0 | 20 | 1.5 |
| 10 無回答 | 2 | 0.8 | 3 | 0.5 | 29 | 5.7 | 34 | 2.6 |
| 全体 | 249 | 100.0 | 563 | 100.0 | 511 | 100.0 | 1,323 | 100.0 |

【住まいの形態別】

| | 一戸建 | | 共同建物 (マンション・ハイツなど) | | 長屋建 (連棟) | | その他 | | 全体 | |
|---|-----|-------|-----------------------|-------|-------------|-------|-----|-------|-------|-------|
| | 件数 | 割合 | 件数 | 割合 | 件数 | 割合 | 件数 | 割合 | 件数 | 割合 |
| 1 行政による維持管理状況の把握 | 196 | 38.7 | 382 | 44.4 | 11 | 31.4 | 2 | 33.3 | 591 | 42.0 |
| 2 行政による管理不全マンションに対する助言・指導等 | 221 | 43.7 | 352 | 40.9 | 17 | 48.6 | 1 | 16.7 | 591 | 42.0 |
| 3 マンションの適正管理に関する様々な情報提供 | 106 | 20.9 | 259 | 30.1 | 15 | 42.9 | 0 | 0.0 | 380 | 27.0 |
| 4 マンションの適正管理についてのセミナー・出張講座・相談窓口による支援の継続 | 50 | 9.9 | 164 | 19.1 | 7 | 20.0 | 0 | 0.0 | 221 | 15.7 |
| 5 旧耐震マンションの耐震化の更なる促進 | 172 | 34.0 | 343 | 39.9 | 15 | 42.9 | 2 | 33.3 | 532 | 37.8 |
| 6 マンションの建替えを促進するような施策 | 125 | 24.7 | 197 | 22.9 | 8 | 22.9 | 1 | 16.7 | 331 | 23.5 |
| 7 既存マンションの付加価値を高めるような施策 | 90 | 17.8 | 270 | 31.4 | 6 | 17.1 | 1 | 16.7 | 367 | 26.1 |
| 8 わからない | 64 | 12.6 | 66 | 7.7 | 4 | 11.4 | 2 | 33.3 | 136 | 9.7 |
| 9 その他 | 10 | 2.0 | 14 | 1.6 | 1 | 2.9 | 0 | 0.0 | 25 | 1.8 |
| 10 無回答 | 41 | 8.1 | 30 | 3.5 | 4 | 11.4 | 0 | 0.0 | 75 | 5.3 |
| 全体 | 506 | 100.0 | 860 | 100.0 | 35 | 100.0 | 6 | 100.0 | 1,407 | 100.0 |

※割合 25%～50%未満の背景を薄赤、50%以上の背景を濃い赤で表示

問 29：空き家など既存の住宅を活用していくために、必要な取組【複数回答】

地域別にみるといずれの地域も「老朽化した空き家の所有者に対する適正な指導」の割合が高くなっていますが、特に「国道 2 号以北」の回答率が 6 割を超え高くなっています。また「シーサイド地区」では「空き家のリフォーム等に対する支援」の割合が 4 割近くと他の地区より高くなっています。

年齢別には「20～39 歳」では「空き家のリフォーム等に対する支援」、「既存の空き家などを安心して購入できるような制度の構築」が他の年齢層より回答割合が高く、同様に、「40～64 歳」では「空き家に関する情報提供など、空き家流通促進の支援」が、「65 歳以上」では「空き家に関する相談窓口の継続」が他の年代よりも高くなっています。

【地域別】

| 項目 | 阪急以北 | | 国道 2 号以北 | | 国道 43 号以北 | | 臨港線以北 | | シーサイド地区 | | 南芦屋浜地区 | | 全 体 | |
|------------------------------|------|-------|----------|-------|-----------|-------|-------|-------|---------|-------|--------|-------|-------|-------|
| | 件数 | 割合 | 件数 | 割合 | 件数 | 割合 | 件数 | 割合 | 件数 | 割合 | 件数 | 割合 | 件数 | 割合 |
| 1 空き家に関する相談窓口の継続 | 108 | 31.2 | 66 | 29.2 | 47 | 30.3 | 80 | 30.4 | 73 | 39.5 | 27 | 28.7 | 401 | 31.6 |
| 2 空き家のリフォーム等に対する支援 | 81 | 23.4 | 50 | 22.1 | 36 | 23.2 | 71 | 27.0 | 72 | 38.9 | 25 | 26.6 | 335 | 26.4 |
| 3 空き家に関する情報提供など、空き家流通促進の支援 | 133 | 38.4 | 82 | 36.3 | 73 | 47.1 | 102 | 38.8 | 75 | 40.5 | 30 | 31.9 | 495 | 39.0 |
| 4 既存の空き家などを安心して購入できるような制度の構築 | 131 | 37.9 | 72 | 31.9 | 55 | 35.5 | 92 | 35.0 | 69 | 37.3 | 34 | 36.2 | 453 | 35.7 |
| 5 老朽化した空き家の所有者に対する適正な指導 | 193 | 55.8 | 143 | 63.3 | 87 | 56.1 | 145 | 55.1 | 93 | 50.3 | 34 | 36.2 | 695 | 54.8 |
| 6 空き家を未然に防ぐための相続等に関する法律相談の充実 | 93 | 26.9 | 65 | 28.8 | 54 | 34.8 | 65 | 24.7 | 60 | 32.4 | 23 | 24.5 | 360 | 28.4 |
| 7 わからない | 26 | 7.5 | 15 | 6.6 | 9 | 5.8 | 21 | 8.0 | 17 | 9.2 | 12 | 12.8 | 100 | 7.9 |
| 8 その他 | 1 | 0.3 | 3 | 1.3 | 3 | 1.9 | 2 | 0.8 | 4 | 2.2 | 1 | 1.1 | 14 | 1.1 |
| 全 体 | 346 | 100.0 | 226 | 100.0 | 155 | 100.0 | 263 | 100.0 | 185 | 100.0 | 94 | 100.0 | 1,269 | 100.0 |

【年齢区分別】

| 項目 | 20～39歳 | | 40～64歳 | | 65歳以上 | | 全体 | |
|------------------------------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 件数 | 割合 | 件数 | 割合 | 件数 | 割合 | 件数 | 割合 |
| 1 空き家に関する相談窓口の継続 | 62 | 24.9 | 175 | 31.1 | 183 | 35.8 | 420 | 31.7 |
| 2 空き家のリフォーム等に対する支援 | 84 | 33.7 | 170 | 30.2 | 98 | 19.2 | 352 | 26.6 |
| 3 空き家に関する情報提供など、空き家流通促進の支援 | 91 | 36.5 | 231 | 41.0 | 191 | 37.4 | 513 | 38.8 |
| 4 既存の空き家などを安心して購入できるような制度の構築 | 101 | 40.6 | 214 | 38.0 | 156 | 30.5 | 471 | 35.6 |
| 5 老朽化した空き家の所有者に対する適正な指導 | 126 | 50.6 | 318 | 56.5 | 279 | 54.6 | 723 | 54.6 |
| 6 空き家を未然に防ぐための相続等に関する法律相談の充実 | 72 | 28.9 | 164 | 29.1 | 140 | 27.4 | 376 | 28.4 |
| 7 わからない | 22 | 8.8 | 32 | 5.7 | 50 | 9.8 | 104 | 7.9 |
| 8 その他 | 2 | 0.8 | 10 | 1.8 | 3 | 0.6 | 15 | 1.1 |
| 全 体 | 249 | 100.0 | 563 | 100.0 | 511 | 100.0 | 1,323 | 100.0 |

※割合 25%～50%未満の背景を薄赤、50%以上の背景を濃い赤で表示

問7：住まいの広さは、どれくらいですか【単一回答】

住まいの広さは、2人世帯の「65㎡～94㎡」「100㎡以上」、3人世帯の「75～84㎡」「100㎡以上」、4人世帯の「75～84㎡」の割合が高くなっています。

また、世帯人員による住まいの広さの違いはあまりみられません。

| | 1人 | 2人 | 3人 | 4人 | 5人 | その他 | 無回答 | 合計 |
|----------|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-------|
| 25㎡未満 | 11 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 15 |
| 25～29㎡ | 5 | 6 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 15 |
| 30～34㎡ | 5 | 7 | 8 | 1 | 1 | 0 | 0 | 22 |
| 35～39㎡ | 9 | 4 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 16 |
| 40～44㎡ | 4 | 10 | 3 | 1 | 0 | 0 | 1 | 19 |
| 45～49㎡ | 2 | 6 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 11 |
| 50～54㎡ | 4 | 18 | 5 | 4 | 0 | 1 | 5 | 37 |
| 55～64㎡ | 24 | 36 | 22 | 10 | 1 | 0 | 1 | 94 |
| 65～74㎡ | 29 | 68 | 27 | 27 | 6 | 1 | 15 | 173 |
| 75～84㎡ | 13 | 65 | 54 | 40 | 9 | 0 | 10 | 191 |
| 85～94㎡ | 13 | 47 | 32 | 23 | 4 | 0 | 4 | 123 |
| 95～99㎡ | 3 | 20 | 21 | 10 | 0 | 1 | 4 | 59 |
| 100～124㎡ | 8 | 70 | 45 | 37 | 5 | 1 | 16 | 182 |
| 125～149㎡ | 6 | 28 | 27 | 17 | 9 | 1 | 5 | 93 |
| 150㎡以上 | 11 | 60 | 39 | 33 | 12 | 5 | 14 | 174 |
| わからない | 16 | 27 | 44 | 31 | 5 | 4 | 9 | 136 |
| 全体 | 163 | 474 | 334 | 235 | 53 | 14 | 87 | 1,360 |

※ 全体の上位10項目に着色

■ 世帯人員別の住宅の面積 [全体の合計を 100%とした時の割合]

| | 1人 | 2人 | 3人 | 4人 | 5人 | その他 | 無回答 | 合計 |
|----------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|--------|
| 25㎡未満 | 0.8% | 0.1% | 0.0% | 0.0% | 0.1% | 0.0% | 0.1% | 1.1% |
| 25～29㎡ | 0.4% | 0.4% | 0.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 1.1% |
| 30～34㎡ | 0.4% | 0.5% | 0.6% | 0.1% | 0.1% | 0.0% | 0.0% | 1.6% |
| 35～39㎡ | 0.7% | 0.3% | 0.1% | 0.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 1.2% |
| 40～44㎡ | 0.3% | 0.7% | 0.2% | 0.1% | 0.0% | 0.0% | 0.1% | 1.4% |
| 45～49㎡ | 0.1% | 0.4% | 0.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.1% | 0.8% |
| 50～54㎡ | 0.3% | 1.3% | 0.4% | 0.3% | 0.0% | 0.1% | 0.4% | 2.7% |
| 55～64㎡ | 1.8% | 2.6% | 1.6% | 0.7% | 0.1% | 0.0% | 0.1% | 6.9% |
| 65～74㎡ | 2.1% | 5.0% | 2.0% | 2.0% | 0.4% | 0.1% | 1.1% | 12.7% |
| 75～84㎡ | 1.0% | 4.8% | 4.0% | 2.9% | 0.7% | 0.0% | 0.7% | 14.0% |
| 85～94㎡ | 1.0% | 3.5% | 2.4% | 1.7% | 0.3% | 0.0% | 0.3% | 9.0% |
| 95～99㎡ | 0.2% | 1.5% | 1.5% | 0.7% | 0.0% | 0.1% | 0.3% | 4.3% |
| 100～124㎡ | 0.6% | 5.1% | 3.3% | 2.7% | 0.4% | 0.1% | 1.2% | 13.4% |
| 125～149㎡ | 0.4% | 2.1% | 2.0% | 1.3% | 0.7% | 0.1% | 0.4% | 6.8% |
| 150㎡以上 | 0.8% | 4.4% | 2.9% | 2.4% | 0.9% | 0.4% | 1.0% | 12.8% |
| わからない | 1.2% | 2.0% | 3.2% | 2.3% | 0.4% | 0.3% | 0.7% | 10.0% |
| 全体 | 12.0% | 34.9% | 24.6% | 17.3% | 3.9% | 1.0% | 6.4% | 100.0% |

※ 全体の上位10項目に着色

■ 世帯人員別の住宅の面積 [各世帯人員の合計を 100%とした時の割合]

| | 1人 | 2人 | 3人 | 4人 | 5人 | その他 | 無回答 | 合計 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 25㎡未満 | 6.7% | 0.4% | 0.0% | 0.0% | 1.9% | 0.0% | 1.1% | 1.1% |
| 25～29㎡ | 3.1% | 1.3% | 1.2% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 1.1% |
| 30～34㎡ | 3.1% | 1.5% | 2.4% | 0.4% | 1.9% | 0.0% | 0.0% | 1.6% |
| 35～39㎡ | 5.5% | 0.8% | 0.6% | 0.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 1.2% |
| 40～44㎡ | 2.5% | 2.1% | 0.9% | 0.4% | 0.0% | 0.0% | 1.1% | 1.4% |
| 45～49㎡ | 1.2% | 1.3% | 0.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 2.3% | 0.8% |
| 50～54㎡ | 2.5% | 3.8% | 1.5% | 1.7% | 0.0% | 7.1% | 5.7% | 2.7% |
| 55～64㎡ | 14.7% | 7.6% | 6.6% | 4.3% | 1.9% | 0.0% | 1.1% | 6.9% |
| 65～74㎡ | 17.8% | 14.3% | 8.1% | 11.5% | 11.3% | 7.1% | 17.2% | 12.7% |
| 75～84㎡ | 8.0% | 13.7% | 16.2% | 17.0% | 17.0% | 0.0% | 11.5% | 14.0% |
| 85～94㎡ | 8.0% | 9.9% | 9.6% | 9.8% | 7.5% | 0.0% | 4.6% | 9.0% |
| 95～99㎡ | 1.8% | 4.2% | 6.3% | 4.3% | 0.0% | 7.1% | 4.6% | 4.3% |
| 100～124㎡ | 4.9% | 14.8% | 13.5% | 15.7% | 9.4% | 7.1% | 18.4% | 13.4% |
| 125～149㎡ | 3.7% | 5.9% | 8.1% | 7.2% | 17.0% | 7.1% | 5.7% | 6.8% |
| 150㎡以上 | 6.7% | 12.7% | 11.7% | 14.0% | 22.6% | 35.7% | 16.1% | 12.8% |
| わからない | 9.8% | 5.7% | 13.2% | 13.2% | 9.4% | 28.6% | 10.3% | 10.0% |
| 全体 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

※ 各世帯人数 割合が高いものを暖色系に着色

問4：住まいの所有関係×問5：住まいの形態×問31 年齢

持家の共同建物（分譲マンション）は、「75～79 歳」が 21.6%で最も多く、「65 歳以上」の高齢者が 43.3%を占めている。一方で、「40 歳未満」の若年世代はわずか 14.6%となっている。

| | | 20～ 24歳 | 25～ 29歳 | 30～ 34歳 | 35～ 39歳 | 40～ 44歳 | 45～ 49歳 | 50～ 54歳 | 55～ 59歳 | 60～ 64歳 | 65～ 69歳 | 70～ 74歳 | 75～ 79歳 | 80～ 84歳 | 総計 |
|-------|------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------|
| 持家 | 一戸建 | 20 | 17 | 16 | 18 | 19 | 57 | 44 | 38 | 38 | 31 | 39 | 110 | 34 | 481 |
| | 共同建物 | 23 | 13 | 21 | 28 | 28 | 49 | 64 | 62 | 42 | 35 | 56 | 126 | 35 | 582 |
| | 長屋建 | 0 | 0 | 4 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 | 7 | 2 | 22 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 民間の賃貸 | 一戸建 | 1 | 0 | 3 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | 0 | 0 | 15 |
| | 共同建物 | 1 | 13 | 19 | 16 | 9 | 13 | 15 | 22 | 15 | 10 | 10 | 15 | 5 | 163 |
| | 長屋建 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 9 |
| UR・公社 | 共同建物 | 3 | 2 | 8 | 0 | 2 | 4 | 3 | 6 | 4 | 6 | 4 | 7 | 3 | 52 |
| 市営・県営 | 共同建物 | 1 | 1 | 2 | 5 | 0 | 2 | 2 | 1 | 2 | 4 | 6 | 16 | 2 | 44 |
| | 長屋建 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 4 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 3 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 社宅・寮 | 一戸建 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 4 |
| | 共同建物 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| その他 | 一戸建 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 2 | 6 |
| | 共同建物 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 1 | 7 |
| その他 | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 無回答 | 共同建物 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| | 無回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 総計 | | 53 | 47 | 76 | 73 | 62 | 133 | 132 | 131 | 105 | 92 | 126 | 293 | 87 | 1,410 |

| | | 20～ 24歳 | 25～ 29歳 | 30～ 34歳 | 35～ 39歳 | 40～ 44歳 | 45～ 49歳 | 50～ 54歳 | 55～ 59歳 | 60～ 64歳 | 65～ 69歳 | 70～ 74歳 | 75～ 79歳 | 80～ 84歳 | 総計 | |
|----|------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------|--------|
| 持家 | 共同建物 | 件数 | 23 | 13 | 21 | 28 | 28 | 49 | 64 | 62 | 42 | 35 | 56 | 126 | 35 | 582 |
| | | 割合 | 4.0% | 2.2% | 3.6% | 4.8% | 4.8% | 8.4% | 11.0% | 10.7% | 7.2% | 6.0% | 9.6% | 21.6% | 6.0% | 100.0% |
| | | 14.6% | | | | 42.1% | | | | 43.3% | | | | | | |